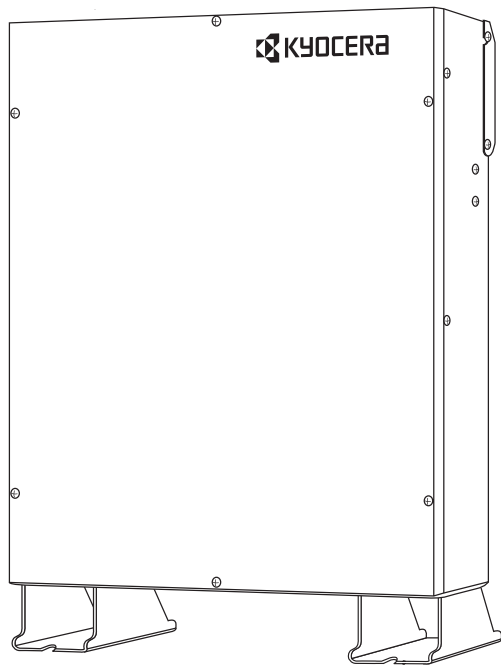


取扱説明書

リチウムイオン蓄電システム

型番 **EGS-LM0320AG**



もくじ

本製品の特長	2
もしもの「安心」、いつもの「節電」	3
安全上のご注意	4
本蓄電システムの概要	9
蓄電システム各部の名前	11
室内リモコン各部の名前とはたらき	12
室内リモコンの操作のしかた	14
運転する	17
運転モードを選ぶ	19
停電になったときは	22
停電時の給電について	23
放電を停止する電池残量を設定する	24
充放電の時間を設定する	25
PV自立引込電流を設定する	27
ネットワークの設定をする	28
ネットワークの設定を確認する	33
画面表示や操作音の設定を変える	34
日時を設定する	35
センサチェックを行う	36
設定を初期化する	37
システムを再起動する	38
エラー履歴を確認する	39
機器情報を確認する	40
室内リモコンをリセットする	41
メニューから設定できる項目	42
こんなときは	43
こんなエラーが出たときは	46
点検	50
停電時の家電製品の利用について	53
保証とアフターサービス	54
仕様	55
外形寸法	56

このたびは、リチウムイオン蓄電システムをお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

ご使用前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。

■保証書は、「お引き渡し日」、「販売会社名」などの記入を必ず確かめ、

取扱説明書とともに大切に保管してください。

この商品は日本国内で使用してください。

日本国内専用品
Use only in Japan

本製品の特長

リチウムイオン蓄電池搭載

3.2kWh*のリチウムイオン蓄電池を搭載しています。

※使用開始時に周囲温度25℃で放電深度が100%のときの状態の為、実際に使用できる容量とは異なります。
また低温時または高温時は容量が一時的に減少する場合があります。

室内リモコンを標準で装備

停電時でも操作できる室内リモコンを装備しています。

室内リモコンの画面で充電電力と放電電力が一目でわかります。また直感的操作が可能な仕組みで、かんたんに操作できます。停電時は画面のメッセージでお知らせします。

もしもの「安心」、いつもの「節電」

節約方法を選べる3つの運転モード

時間帯別の電気料金をご利用の場合に電気料金の安い時間帯の電力を蓄電池に充電する「通常モード」、太陽電池で発電した電力を蓄電池に充電する「グリーンモード」、エネファームの余剰電力を充電する「エネファームモード」の3つのモードがあります。充電しておいた電力は、電力使用ピーク時に活用でき、電気料金の節約になります。

日常のご使用には、ご家庭の環境やお好みに合わせた運転モードを選ぶことができます。

※エネファームモードからその他のモードに変更する場合、その他のモードからエネファームモードに変更する場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

●通常モード

時間帯別の電気料金をご利用の場合は、充電を電気料金が割安な時間帯に、放電を電力使用量ピーク時間帯に設定することで、電気料金の節約が可能になります。また、太陽電池で発電した電力の余剰分はしっかり売電します。

経済性を重視したエコノミー設定です。もし、天気が悪く、太陽電池で発電した電力が無い場合でも、蓄電池から放電することで、割高な時間帯の電力使用を控えることができます。

●グリーンモード

太陽電池で発電した電力は優先的に家庭で使用し、ゼロエミッションを目指すモードです。昼間、太陽電池で発電した電力の余剰分はできるだけ蓄電池に充電し、夜の電力使用ピーク時に活用します。自家発電したものを優先的に使用する地産地消モードで、環境を重視したエコロジー設定です。

また、時間帯別の電気料金をご利用の場合は、充電タイマーを電気料金が割安な時間帯に設定することで、電気料金の節約が可能になります。1日あたりの充放電サイクルを増やすことにより稼働率を上げ、経済効果を発揮させることもできます。

●エネファームモード

24時間発電を続けるエネファームで発電した電気を優先的に供給し、自宅で使用する電力をまかないます。

電気をあまり使わないときのエネファームの余剰電力を蓄電池に充電し、負荷が多い場合にエネファームの発電で不足した電力を蓄電池から供給することで、購入電力を減らすことができる運転モードです。エネファームと蓄電池で昼間の使用電力をまかなえるので、太陽電池で発電した電力の売電量もアップします。

※蓄電池に充電する必要がない場合、充電は行いません。

※エネファーム設置時は原則エネファームモードを使用してください。

もしもの停電時も「安心」!

もしもの停電時や計画停電に備えて、蓄電システムからご家庭に、必要な電力をバックアップします。停電が発生すると、蓄電システムは自動的に自立運転に切り替わります。

●昼間の晴天時は、太陽電池で発電した電力と蓄電池を併用して電力を供給します。

●雨や曇りの日・夜間の停電でも、充電された蓄電池から電力を供給(放電)します。

●蓄電システムからの出力で停電時に液晶テレビ、LED照明、ノートパソコン等必要最低限の家電製品を最大9時間*作動させることができます。



※特定コンセントに約300Wの家電製品を接続した場合の目安です。

実際のご使用では、蓄電池の充電量、その他の条件で変わります。





安全上のご注意 必ずお守りください

ご使用になる前にこの「安全上のご注意」をお読みのうえ、よく理解してください。
お読みになったあとも必要なときにすぐ見られるよう、大切に保管してください。
また、人身上の傷害や財産への損害を未然に防ぐため操作は取扱説明書の指示、手順にしたがって行い、装置や取扱説明書に表示されている注意事項は必ず守ってください。

■誤った使いかたで生じる内容を次のように区分して、説明しています。

 警告	「死亡、または重症 ^{*1} を負うおそれがある」内容です。
 注意	「傷害 ^{*2} を負う、または財産に損害を受けるおそれがある」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。
	分解することで感電などの傷害が起る可能性があるため、してはいけない内容です。

※1: 重傷とは、失明やけが、やけど、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを示します。

※2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を示します。

設置に関する注意事項



警告



取付工事・修理・移動・再設置・破棄はお買い上げの販売会社へ依頼する
不備があった場合、感電や火災のおそれがあります。



次のような場所への設置は行わない

蓄電システム

- 日本国外
- 次の温湿度範囲以外のところ
温度: $-10\sim+40^{\circ}\text{C}$ *¹
湿度: 15~90%RH
(ただし、結露および氷結なきこと)
〔省エネルギー基準地域区分1/2/8(ただし、屋内は除く)〕
- 標高1500mより高いところ
- 積雪により製品が埋没するところ(積雪地域に設置する場合は、屋根/囲い等を設ける)
- 塩害地域(日本冷凍空調工業会標準規格 JRA9002-1991「空調機器の耐塩害試験基準」に基づく)
- 直射日光が当たるところ
(オプションの日除け取付時は除く)*²
- 指定の取付スペースを確保できないところ
(→ P.6)
- 過度の水蒸気、油蒸気、煙、塵埃、腐食性物質、爆発性/可燃性ガス、化学薬品、火気の近くまたはおそれがあるところ
- 浸水のおそれがあるところ
- 温度変化が激しいところ(結露のあるところ)
- 騒音について厳しい制約を受けるところ
- 振動、衝撃の影響が大きいところ
- 近くに電波妨害を受けやすい設備・機器があるところ
- 岩礁隣接地域

室内リモコン

- 屋外
- 次の温湿度範囲以外のところ
温度: $-10\sim+40^{\circ}\text{C}$
湿度: 25~85%RH
(ただし、結露および氷結なきこと)
- 温度変化が激しいところ
- 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ
- 振動、衝撃の影響が大きいところ
- 水蒸気、油蒸気、雨水、結露のあるところ
- 浸水のおそれがあるところ
- 電界の影響が大きいところ
- 直射日光が当たるところ
- 通風を妨げ、使用条件温度を超えるような押入れや階段下などの狭い場所
- 操作が困難で、表示部が確認しづらいところ

※1: 本体内の温度センサの計測値によります。

温度範囲以外のあるところでは、動作を停止する場合があります。

※2: ただし、日除けで防ぐことができない裏面や側面に長時間、直射日光が当たるところは除く。

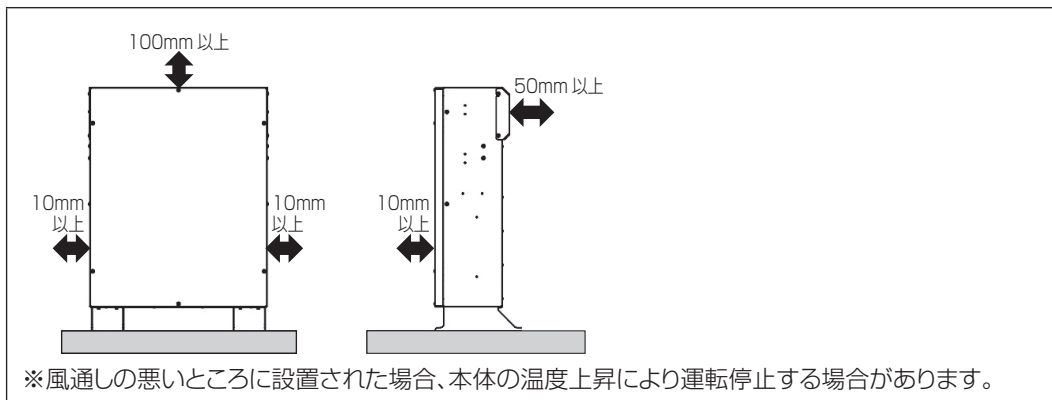
日除けを取り付けても、本体周囲温度が高い場合や周辺装置からの排熱などの外部影響により温度保護で一時的に運転を停止する場合があります。

安全上のご注意 つづき



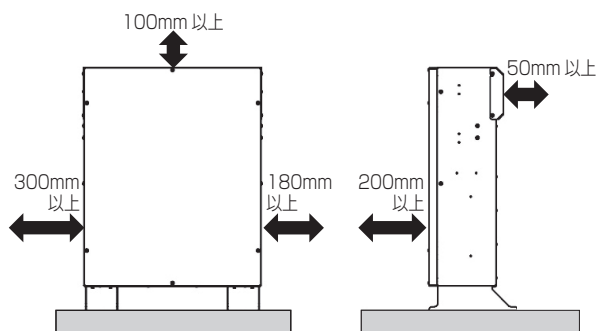
⊘ 次のような場所への設置は行わない(つづき)

【下図に示す放熱スペース・条件を確保できない設置場所】

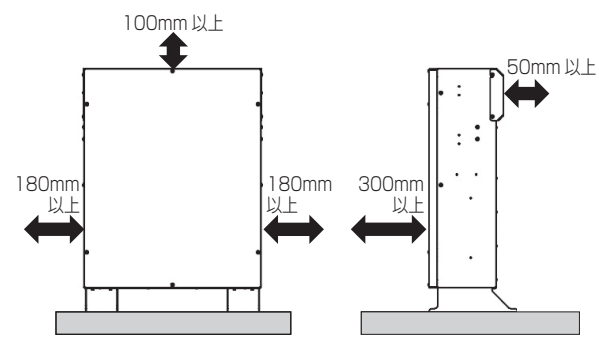


メンテナンス時に作業スペースを確保するため、下記スペースに重量物を置かないでください。

- 前面に作業スペースが取れない場合(左から作業時)














- 前面に作業スペースが取れる場合



使用に関する注意事項

警告

<p> 分解・改造をしない 感電や傷害を負うおそれがあります。</p>	<p> 特定コンセントには、途中で電源が切れると困る家電製品は接続しない 家電製品の電源が切れ、パソコンなどのデータが破損するおそれがあります。 夜間や曇りなどで発電電力または蓄電池の電力が不足すると装置は停止します。不安定な電源なので生命にかかわる機器には絶対に使用しないでください。</p>
<p> 子供だけでは使わせない 感電・やけど・火災のおそれがあります。</p>	<p> 特定コンセントに金属、紙、水などを差しこんだり、中にいれたりしない 火災・感電・故障の原因となります。</p>
<p> 煙が出ていたり、変なにおいがする場合は、すぐに蓄電システムの運転を停止(→ P.18)し、その後屋内分電盤の蓄電システム用ブレーカを「OFF」にする そのまま使用すると、火災の原因となります。 お買い上げの販売会社へご連絡ください。</p>	<p> 本製品に乗ったり、座ったり、ぶらさがったり、物をのせたりしない 装置が変形・脱落し、けが・感電・故障の原因となります。</p>
<p> 近くで殺虫剤などの可燃性ガスを使用しない 引火し、やけど・火災の原因となることがあります。</p>	<p> 蹴るなどして強い衝撃を与えない 変形して短絡し、発熱・発火・破裂・火災のおそれがあります。</p>
<p> 可燃性ガスや引火物を近くに置かない(60cm以内) 電気部品のスパークで漏れたガスや引火物などに引火するおそれがあります。</p>	<p> 電気が蓄えられているので、注意する 屋内分電盤の蓄電システム用ブレーカを「OFF」にしても感電や傷害を負うおそれがあります。 十分に注意してください。</p>
<p> ヒートシンクカバーに物(金属、紙、水など)を差しこんだり、中にいれたりしない 火災・感電・故障の原因となります。</p>	

安全上のご注意 つづき

⚠️ 注意

<p>⊘ ぬれた手でふれたり、ぬれた布でふいたりしない 感電の原因となることがあります。</p>	<p>⊘ シンナー、ベンジン、アルコールなどの薬品を含んだ布でふかない 装置の変色の原因となります。</p>
<p>⊘ 高圧洗浄機を使用しない 感電や機器の故障の原因となることがあります。</p>	<p>⊘ 装置の近くでテレビやラジオなどを使用しない 受信している電波の弱い場所では電波障害を受けるおそれがあります。 テレビの画面が乱れたり、ラジオに雑音が入ることがあります。</p>
<p>❗ 特定コンセントにはAC100Vで最大15A(1500W)未満の機器を接続する 機器の故障の原因となることがあります。</p>	<p>⊘ 特定コンセントにはポンプやモーターなど起動時に大きな電力を必要とするものは使用しない 非常時設定では、負荷によって使用できないものがあります。</p>
<p>❗ 落雪等でヒートシンクカバーが塞がらないよう設置状況により防雪・雪囲い等の処置を行う 行わない場合、温度上昇によりエラー発生する可能性があります。</p>	<p>❗ 積雪時はヒートシンクカバーが塞がらないよう点検・除雪を行う 行わない場合、温度上昇によりエラー発生する可能性があります。</p>
<p>⊘ ヒートシンクカバーを塞いだりヒートシンクカバー付近に荷物を置いたりしない 温度上昇によりエラー発生する可能性があります。</p>	<p>⊘ 一般ゴミとして廃棄しない 本製品はリチウムイオン電池を内蔵しておりますので、ゴミ収集車内や集積場での発煙、発火の原因になります。 廃棄する場合は、お買い上げの販売会社へご相談ください。</p>

無線通信機器内蔵について

本蓄電システムの室内リモコンには、電波法に基づく電力データ通信システムの無線局として、工事設計確認証を受けた無線設備を内蔵しています。

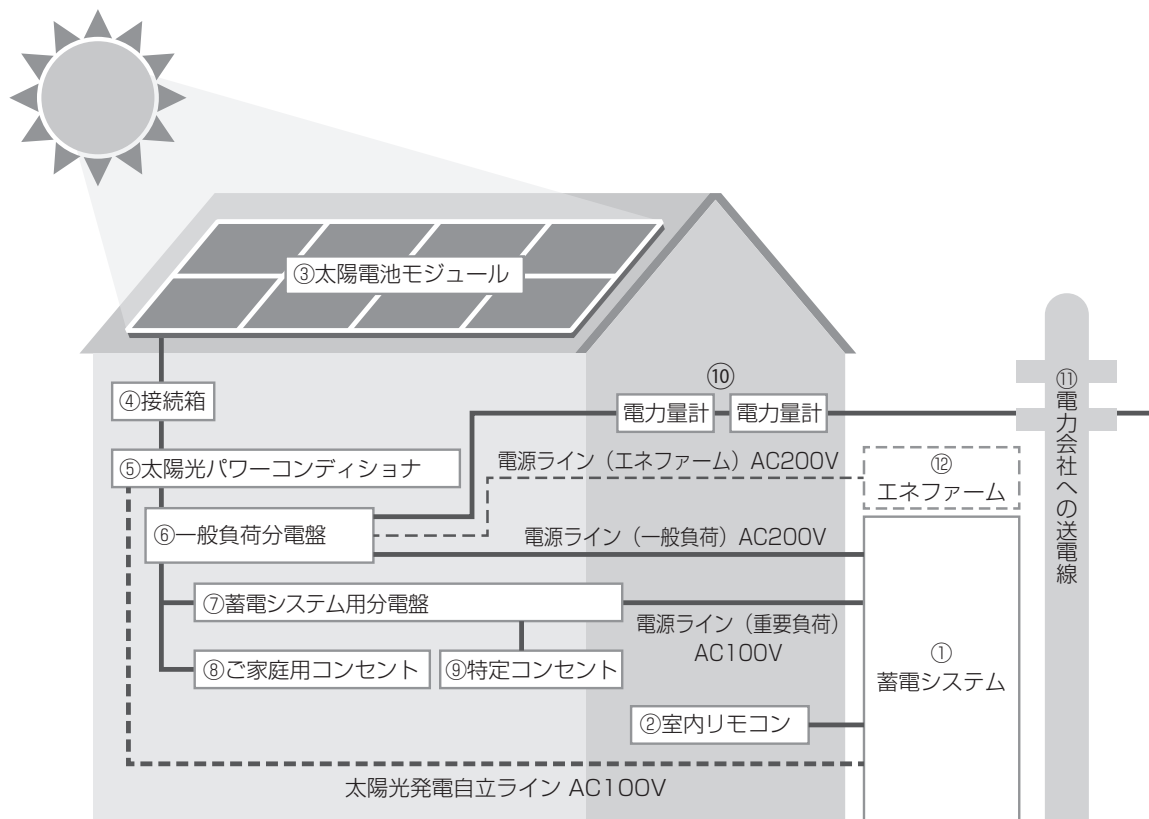
認証番号	211-160302
無線設備名	GS2101MIP

本蓄電システムの概要

この製品は、住宅の屋根などに設置した太陽電池やエネファームと蓄電池を併用して、暮らしに必要な電気を供給する「蓄電システム」です。

停電時には太陽電池で発電した電力または蓄電池の電力を使用して、照明等の重要負荷に電力を供給可能です。蓄電システム用分電盤(切替スイッチ内蔵)(以下、「蓄電システム用分電盤」という)を使用する場合、切り替えることで平常時は系統から、停電時は蓄電システムから特定コンセントに電力供給できます。蓄電システム用分電盤を使用しない場合は、平常時は電力供給が行われず、停電時にのみ特定コンセントへ電力供給できます。

蓄電システム用分電盤を使用するシステム構成



① 蓄電システム

リチウムイオン電池、蓄電パワーコンディショナで構成され、太陽電池やエネファームで発電した電力または系統の電力を蓄えます。必要に応じて蓄えた電力を放電します。

② 室内リモコン

表示画面を備えた操作パネルです。充電・放電状態の表示や各運転モードの設定が行えます。

③ 太陽電池モジュール

太陽光を受けて発電します。

④ 接続箱

太陽電池モジュールからのケーブルを太陽光パワーコンディショナに接続します。

⑤ 太陽光パワーコンディショナ

太陽電池で発電した電力(直流)を、ご家庭で使える電力(交流)に変換します。また、太陽光発電システム全体の運転を制御します。

⑥ 一般負荷分電盤

漏電ブレーカと太陽光発電システム用ブレーカ、エネファーム用ブレーカ、蓄電システム用ブレーカを内蔵しています。

⑦ 蓄電システム用分電盤

特定コンセントへの電力供給元(蓄電システム/系統)を切り替えるスイッチが内蔵された分電盤です。蓄電システム用分電盤を使用しない場合は、蓄電システム用分電盤を使用しないシステム構成(➡ P.10)をお読みください。

⑧ ご家庭用コンセント

⑨ 特定コンセント

停電時に利用したい機器を接続して使用します。

⑩ 電力量計

売電用と買電用の2種類またはスマートメーターがあり、電力会社に売った余剰電力(売電)と、買った電力(買電)を計量します。

⑪ 電力会社への送電線

不足電力を電力会社から購入し(買電)、余剰電力を電力会社へ送ります(売電)。

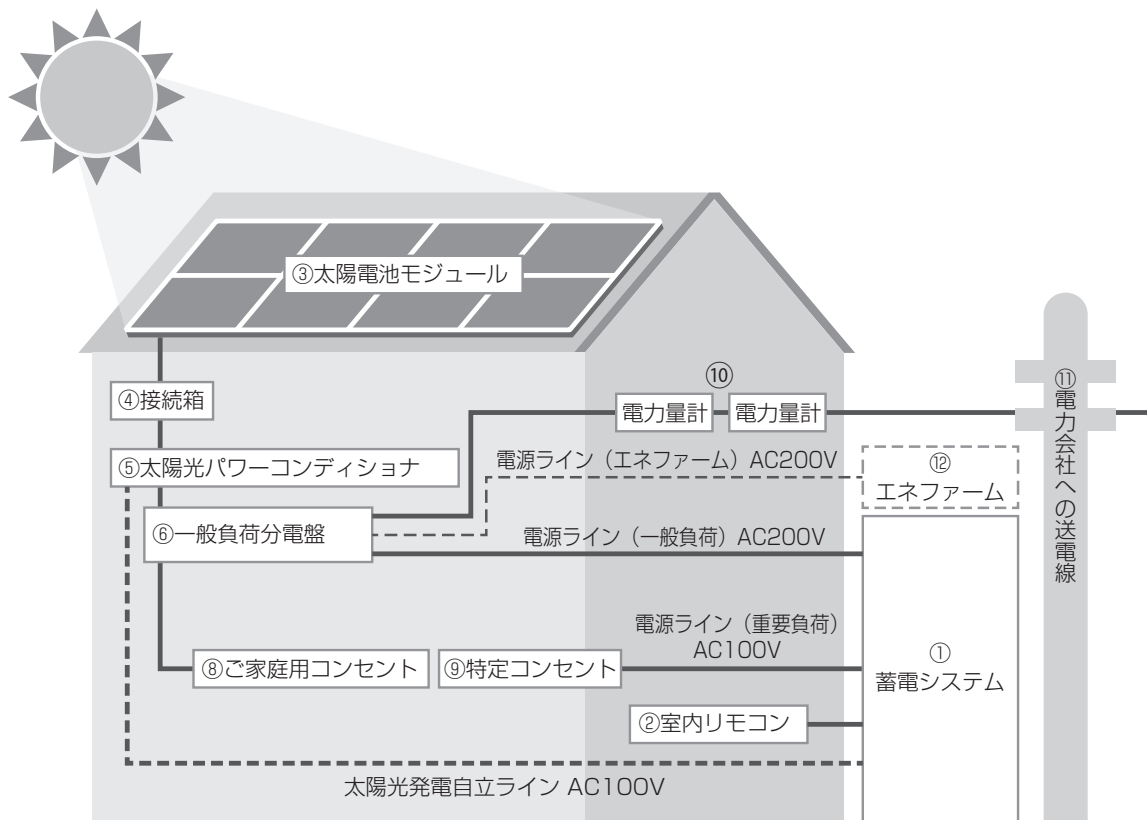
⑫ エネファーム

ガスを用いて発電します。本蓄電システムと組み合わせ可能な機種についてはお問い合わせください。

本蓄電システムの概要 つづき

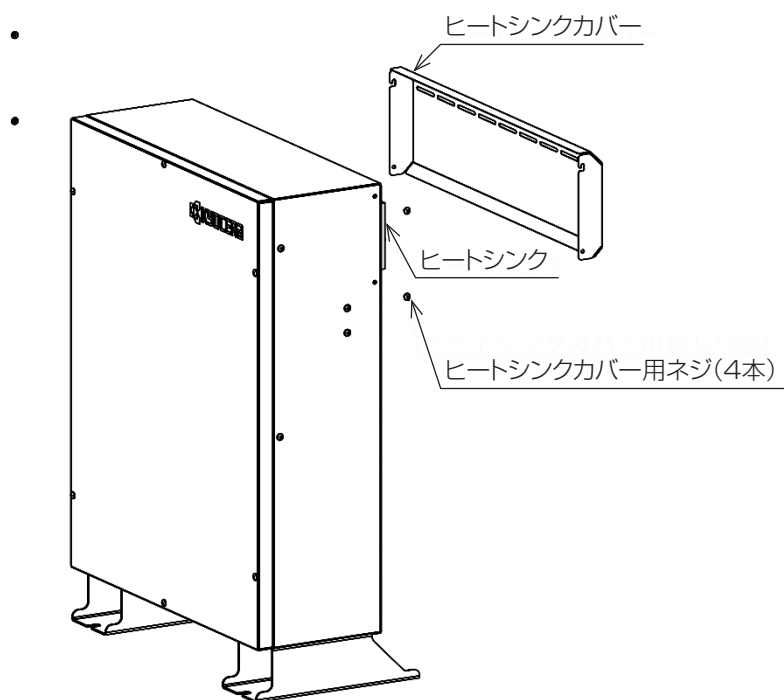
蓄電システム用分電盤を使用しないシステム構成

停電時にのみ特定コンセントに電力を供給します。

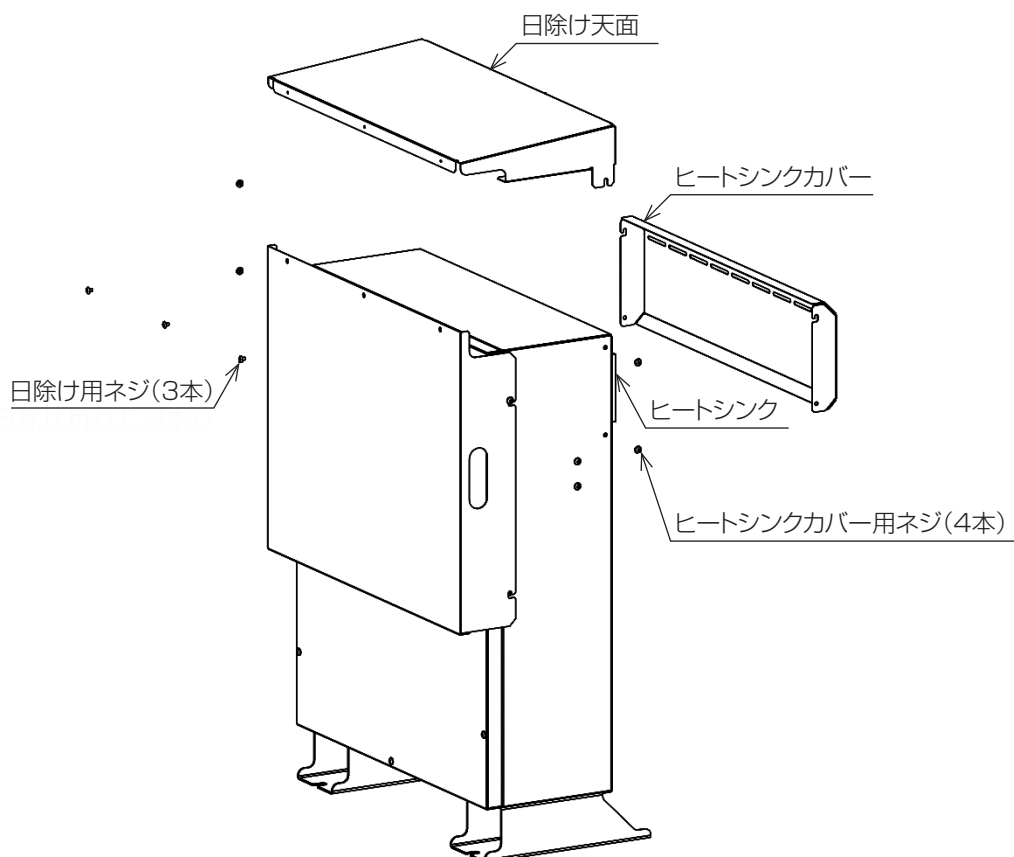


蓄電システム各部の名前

蓄電システム本体(日除けなし)



蓄電システム本体(日除けあり)



室内リモコン各部の名前とはたらき

室内リモコン本体

<p>④筐体内部 ⑤側面の開口部</p>	① アイコン	蓄電システムが運転時、緑に点灯し、停止時に消灯します。	
		自立運転時(停電時等)、緑に点灯し、連系時に消灯します。	
		エラー時、赤に点灯します。	
	② 表示画面	蓄電池の状態、発電量、売買電力量、消費電力量を表示します。	
		蓄電 蓄電池の状態を表示します。 (メニュー操作のときは、上方向へ移動します)	
		発電 発電電力と発電電力量を表示します。 (メニュー操作のときは、下方向へ移動します)	
		売買 売買電力と売買電力量を表示します。 (メニュー操作のときは、左方向へ移動します)	
		消費 消費電力と消費電力量を表示します。 (メニュー操作のときは、右方向へ移動します)	
		メニュー メニュー項目を開きます。 軽く長押し(3秒)=チャイルドロック (解除も軽く長押し3秒)	
		決定 決定します。	
③ 操作ボタン	戻る 前の画面に戻ります。		
	ブザー ブザーが鳴ります。		
④ ブザー	ブザーが鳴ります。		
⑤ リセットボタン	蓄電システムをリセットします。(側面の開口部にあります)(➡ P.41)		

室内リモコンの表示画面の見かた

蓄電池情報

蓄電システムの状態を表示します。

73%

1.4 kW

残り 1時間 21分

放電

無線接続の状態を電波強度で表示します。

時刻を表示します。(am/pm表示も可能です)

エラー発生するとき、ブザー音とともにコードを通知します。

充電タイマーもしくは放電タイマーを設定しているときに表示します。設定した時間内のときは、🕒 と 🕒 を交互に表示します。

選択中の情報を表示します。*1

運転モードを表示します。

- 🏠 : 通常モード
- 🌿 : グリーンモード
- 🔋 : エネファームモード*2
- EL : ECHONET Lite運転

未接続 Lv0 Lv1 Lv2 Lv3

※1: 低温時は蓄電池の特性上、電池の残量が急に低下することがあります。

その際に停止時の電池の残量が0%でない場合や、放電下限SOC(➡ P.24)と異なる場合があります。

※2: エネファームモード運転時に充電上限が85%に設定されると 🔋 が点滅します。

室内リモコンの操作のしかた

画面表示を切り替える

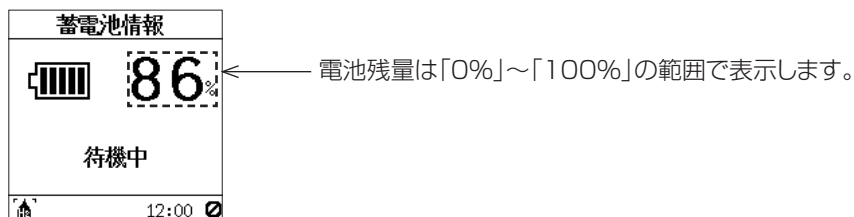
操作ボタンで画面表示を切り替えます。

●蓄電池情報の表示

 (蓄電) ボタンを軽く押すと、蓄電池の放電電力、充電電力、電池残量、残り使用時間(自立運転時のみ)を表示します。

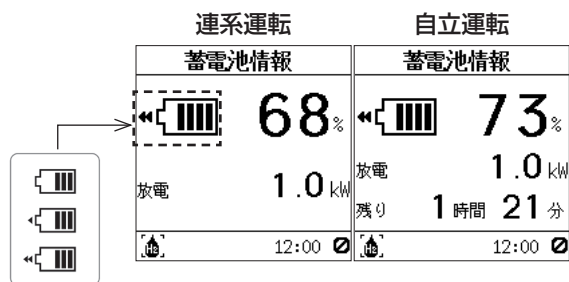
●待機中

蓄電システムが、待機中のときに表示します。



●放電中

蓄電システムが、放電しているときに表示します。



電池残量は「0%」～「100%」の範囲で表示します。

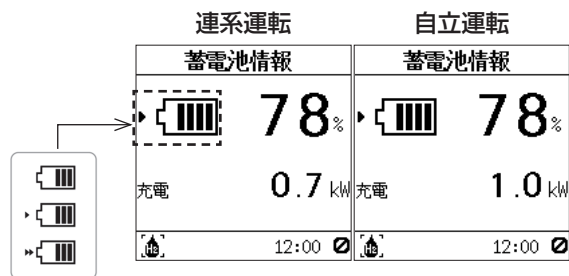
放電電力は連系運転時には「0.0kW」～「1.0kW」の範囲で表示し、自立運転時には「0.0kW」～「1.5kW」の範囲で表示します。残り使用時間は「0時間0分」～「99時間59分」の範囲で表示します。

●残り使用時間は、自立運転のときに表示し、連系運転のときは表示されません。

※残り使用時間はあくまでも目安です。負荷の使用状況によって変動します。

●充電中

蓄電システムが、充電しているときに表示します。



電池残量は「0%」～「100%」の範囲で表示します。

充電電力は連系運転時には「0.0kW」～「1.0kW」の範囲で表示し、自立運転時には「0.0kW」～「1.5kW」の範囲で表示します。

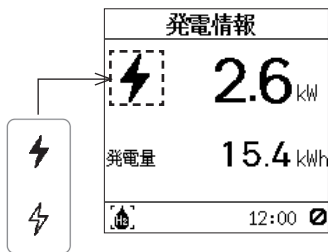
注: 低温時は蓄電池の特性上、電池の残量が急に低下することがあります。

その際に停止時の電池の残量が0%でない場合や、放電下限SOCと異なる場合があります。

また電池保護のため充放電電力が定格より小さくなる場合があります。

●発電情報の表示

⚡(発電)ボタンを軽く押すと、発電情報を表示します。



発電電力は「0.0kW」～「99.9kW」の範囲で表示します。

発電電力量は当日(0:00～23:59)の積算値とし、

「0.0kWh」～「999.9kWh」の範囲で示し、深夜0時でリセットします。

※契約設定が「電池のみ」の場合、「電池のみ契約の為、発電情報は表示できません。」のメッセージが表示されます。

発電状態をアニメーションで表示します。

●売買情報の表示

🏠(売買)ボタンを軽く押すと、売買情報を表示します。

• 売買なし

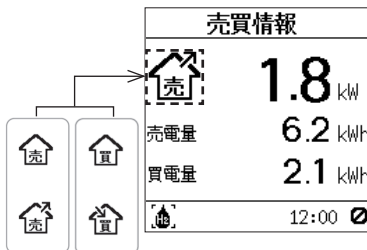


売買電力は「0.0kW」～「99.9kW」の範囲で表示します。

買電電力量、売電電力量は当日(0:00～23:59)の積算値とし、

「0.0kWh」～「999.9kWh」の範囲で示し、深夜0時でリセットします。

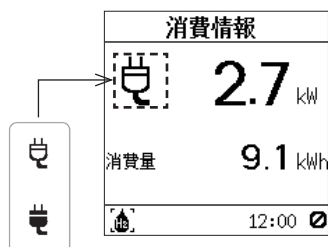
• 売電中、買電中



売買状態をアニメーションで表示します。

●消費情報の表示

🔌(消費)ボタンを軽く押すと、消費情報を表示します。



消費電力は「0.0kW」～「99.9kW」の範囲で表示します。

消費電力量は当日(0:00～23:59)の積算値とし、

「0.0kWh」～「999.9kWh」の範囲で示し、深夜0時でリセットします。

消費状態をアニメーションで表示します。

室内リモコンの操作のしかた つづき

●操作ボタン(選択ボタン)で画面表示する電力

< >内は契約設定(➡ P.40)

設置機器	運転モード	蓄電	発電	消費	売買電
蓄電池 <電池のみ>	通常モード	蓄電池の電力	電池のみ契約の 為、発電情報は表 示できません。	住宅の消費電力	系統の電力
蓄電池 太陽電池(PV) <シングル>*1	通常モード グリーンモード	蓄電池の電力	PVの電力	住宅の消費電力	買電: 系統の電力 売電: PVの電力
蓄電池 太陽電池(PV) <ダブル>*2	通常モード	蓄電池の電力	PVの電力	住宅の消費電力	買電: 系統の電力 売電: PVの電力
蓄電池 エネファーム(EF) <エネファーム 100V、200V>	エネファームモード	蓄電池の電力	EFの電力	住宅の消費電力	買電: 系統の電力 売電: EFの電力
蓄電池 太陽電池(PV) エネファーム(EF) <エネファーム 100V、200V>	エネファームモード	蓄電池の電力	PVの電力 +EFの電力	住宅の消費電力	買電: 系統の電力 売電: PVの電力 +EFの電力
蓄電池 エネファーム(EF) <電池のみ>	通常モード	蓄電池の電力	電池のみ契約の 為、発電情報は表 示できません。*3	住宅の消費電力 -EF発電電力*4	系統の電力
蓄電池 太陽電池(PV) エネファーム(EF) <シングル>*1	通常モード グリーンモード	蓄電池の電力	PVの電力*5	住宅の消費電力 -EF発電電力*4	買電: 系統の電力 売電: PVの電力
蓄電池 太陽電池(PV) エネファーム(EF) <ダブル>*2	通常モード	蓄電池の電力	PVの電力*5	住宅の消費電力 -EF発電電力*4	買電: 系統の電力 売電: PVの電力
蓄電池 @自立運転	自立運転	蓄電池の電力	PVの自立電力*6	特定コンセントの電力	停電中の為、売買 情報は表示できま せん。

※1: シングルとは、太陽電池で発電した電力が、自家消費分を上回り売電し始めると、蓄電池の放電が止まります。

※2: ダブルとは、太陽電池で発電した電力を売電しているときも、蓄電池から放電します。

※3: EFの電力を表示できません。

※4: 住宅の消費電力を正しく表示できません。

※5: EFの電力を合算できません。

※6: PVの自立電力が蓄電池に接続されている場合

運転する

通常の連系運転

電力会社からの電力または太陽電池やエネファームで発電した電力、蓄電した電力を一般負荷分電盤に供給します。

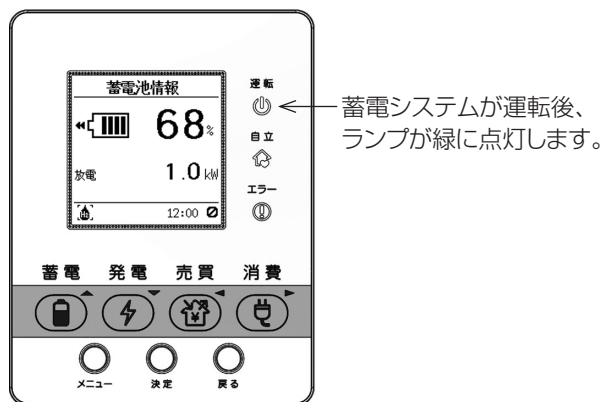
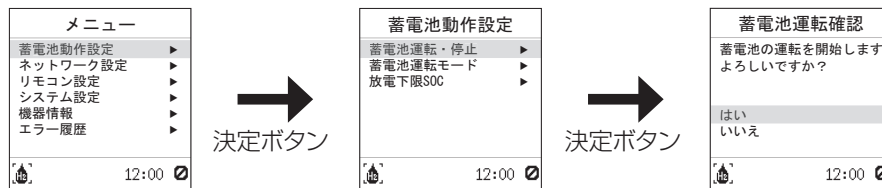
●運転を開始する

1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す

2 メニュー→蓄電池動作設定→蓄電池運転・停止を選び、「はい」にカーソルを合わせ、決定ボタンを軽く押す

蓄電池の運転が開始します。

・上下ボタンでカーソル移動し、決定ボタンで選択を行うことができます。



運転する つづき

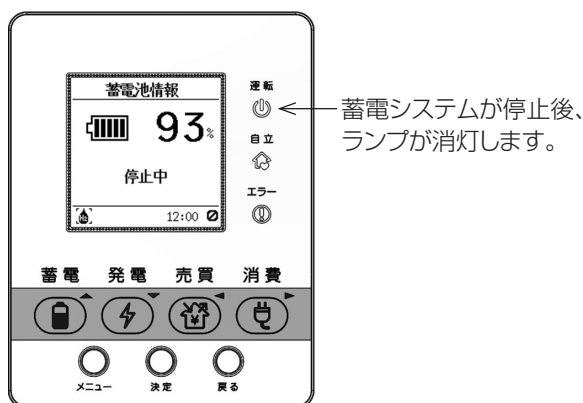
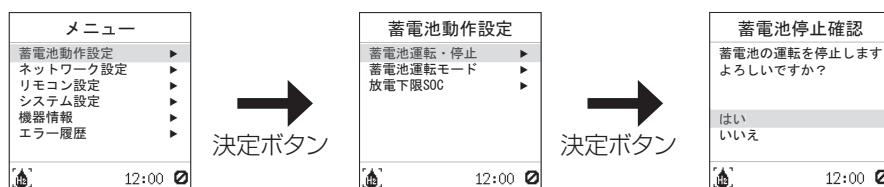
●運転を停止する

1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す

2 メニュー→蓄電池動作設定→蓄電池運転・停止を選び、「はい」にカーソルを合わせ、決定ボタンを軽く押す

蓄電池の運転が停止します。

- ・上下ボタンでカーソル移動し、決定ボタンで選択を行うことができます。

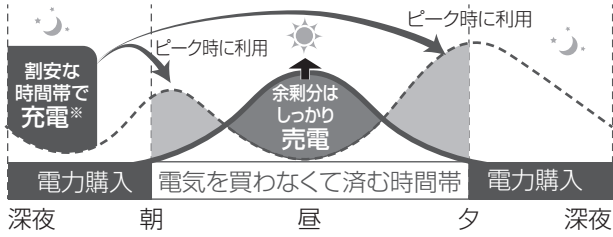
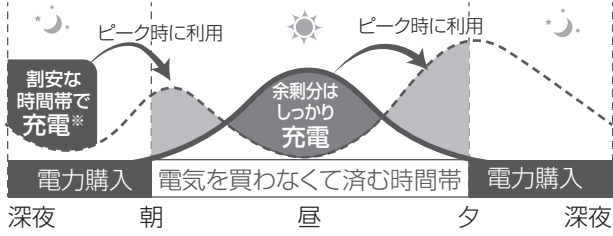
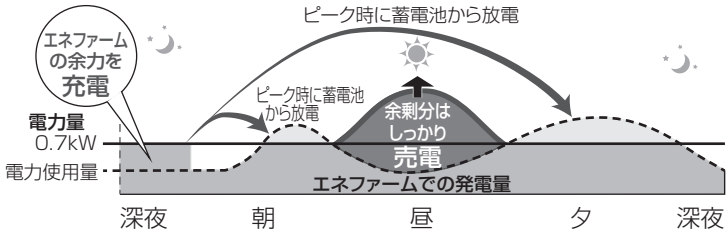


※運転停止中は、蓄電池は動作しないため、忘れずに運転を開始してください。(➡ P.17)

蓄電池の電池残量が少なくなった場合は、蓄電池の過放電保護のため、自動的に充電する場合があります。

運転モードを選ぶ

■3通りの運転モード

<p>通常モード</p> <p>時間帯別の電気料金をご利用の場合は、充電を電気料金が割安な時間帯に、放電を電気料金が割高な時間帯に設定することで、電気料金の節約が可能になります。放電の時間帯は、蓄電池は契約設定に応じて放電動作を行います。</p> <p>※充放電時間の設定(➡ P.25、P.26)</p> <p>※蓄電池が過放電の状態が続くと強制的に充電されます。</p>	 <p>※時間帯別の電気料金をご利用の場合</p>
<p>グリーンモード</p> <p>時間帯別の電気料金をご利用の場合は、充電を電気料金が割安な時間帯に設定することで、電気料金の節約が可能になります。太陽電池で発電した電力の余剰分で蓄電池の充電を行います。長時間、蓄電池の満充電状態が続くと強制的に放電されます。</p> <p>※電池残量が100%のときは、余剰電力を売電します。</p> <p>※蓄電池が過放電の状態が続くと強制的に充電されます。</p>	 <p>※時間帯別の電気料金をご利用の場合</p>
<p>エネファームモード</p> <p>電気をあまり使わないときにエネファームで発電した電力を充電し、たくさん電気を使うときに放電することで、電気料金の節約が可能になります。長時間、蓄電池の満充電状態が続くと強制的に放電されます。</p> <p>強制放電が完了すると、電池残量の充電上限が85%になります。電池残量の充電上限が85%の場合は、リモコン表示で確認できます。(➡ P.13)</p> <p>電池残量の充電上限が85%のときは、残量が85%になると、次の充電は83%まで放電したあとに行います。</p> <p>放電下限SOCまで放電すると、電池残量の充電上限が100%に戻ります。</p> <p>※蓄電池が過放電の状態が続くと強制的に充電されます。</p>	

契約設定により、選択できる運転モードが異なりますので、ご注意ください。

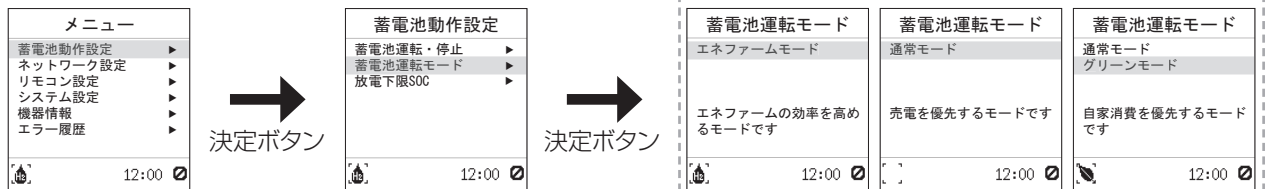
契約設定	選択可能な運転モード
シングル	通常モード、グリーンモード
ダブル、電池のみ	通常モード
エネファーム100V、200V	エネファームモード

※エネファームモードからその他のモードに変更する場合、その他のモードからエネファームモードに変更する場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

運転モードを選ぶ つづき

●蓄電池運転モードの切り替え方法

- 1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す
- 2 メニュー→蓄電池動作設定→蓄電池運転モードから上下ボタンで設定したい蓄電池運転モードを選び、決定ボタンを軽く押す



選択可能な蓄電池運転モードは、契約設定によって変化します。
シングル: 通常またはグリーン ダブル: 通常
エネファーム: エネファーム 電池のみ: 通常

注: 蓄電池が運転中の場合は、蓄電池動作設定の「蓄電池運転・停止」を選択し、運転を停止してからモードを選択してください。



■知っておいていただきたいこと

●通常モード、グリーンモードでお使いの場合の動作について

電気の使用量が多い場合、電池の残量0%の状態が続くと、電池の保護のために、電気のご使用量等に関係なく強制的に充電状態^{*1}になりますが、故障ではありません。またグリーンモードの場合は、電気のご使用量が少ない春や秋の季節、長時間ご不在時など、長時間満充電の状態が続くと、電池の保護のために、電気のご使用量等に関係なく強制的に放電状態^{*2}になります。強制放電中でも、余剰電力が発生している期間は放電いたしません。

※1: 室内リモコンの表示画面に「強制充電」のメッセージが表示されます。電池残量が10%に到達すると強制充電を終了します。

※2: 室内リモコンの表示画面に「強制放電」のメッセージが表示されます。電池残量が53%に到達すると強制放電を終了します。

通常モードまたはグリーンモードでエネファームを併設してご使用の場合は、電気のご使用量がエネファームの発電量よりも少ないとき、蓄電池から放電されません。また、住宅の消費電力およびエネファームの発電電力が室内リモコンに正しく表示されません。

●エネファームモードでお使いの場合の動作について

電気のご使用量が少ない春や秋の季節、長時間ご不在時など、長時間満充電の状態が続くと、電池の保護のために、電気のご使用量等に関係なく強制的に放電状態^{*1}や待機状態になり、電池残量の上限が85%に変更されます。電池残量の上限が85%の場合は、リモコン表示で確認できます。(➡ P.13)

電池残量の上限が85%のときは、残量が85%になると、次の充電は83%まで放電したあとに行います。

強制放電中はエネファームの発電出力が大きく低下することがありますが、終了後は通常の発電状態に戻ります。放電下限SOCまで放電すると、電池残量の充電上限が100%になります。

また、電気の使用量が多いときなど、電池の残量0%の状態が続くと、電池の保護のために、電気のご使用量等に関係なく強制的に充電状態^{*2}や待機状態になりますが、故障ではありません。


住宅内の電気は、その電気配線方法により2つのグループ(U相、W相)に分かれています。本製品の放電は、2つのグループのうち、いずれか電気のご使用量の少ない方にあわせて制御を行います。

これは、蓄電池からの放電が商用電源に逆潮流することを防止するための措置であり、住宅全体の電気のご使用量に対して、放電量が少なくなることがありますが、異常ではありません。



※1: 室内リモコンの表示画面に「強制放電」のメッセージが表示されます。電池残量が33%に到達すると強制放電を終了します。

※2: 室内リモコンの表示画面に「強制充電」のメッセージが表示されます。電池残量が30%に到達すると強制充電を終了します。

強制放電中

蓄電池情報	
 93%	
強制放電	0.5 kW
	12:00

強制充電中

蓄電池情報	
 9%	
強制充電	0.5 kW
	12:00

停電になったときは

停電が発生した場合

停電が発生すると、本システムは自立運転に切り替わり、特定コンセントへの放電を開始します。特別な操作は必要ありません。(ただし、停電発生時に本システムが停止していると、自立運転を行いません)

- 停電時に本システムが自立運転を開始していないときは、「通常の連系運転」と同じ手順で運転を開始してください。
- 特定コンセント用に手動の切替スイッチを使用している場合は、切替スイッチを「蓄電」側にしてください。切替スイッチを「系統」側のままの場合、停電時は特定コンセントに電気が供給されません。停電中は室内リモコンの自立アイコンが緑に点灯します。(➡ P.12)
- 蓄電システム用分電盤を使用せずに特定コンセントを使用している場合に、本システムからの電力の供給を遮断するときは、特定コンセントから家電製品を抜いてください。
- 停電中に太陽光発電システムの発電電力を本システムに充電する場合は、太陽光発電システムの運転モードを停電中でも発電するように切り替える必要があります。太陽光発電システムの運転モードの切り替え方法は、ご使用の太陽光発電システムの取扱説明書を参照してください。
- 太陽光発電システムの発電電力が特定コンセントの電気製品を稼働させ、さらに余剰が出た場合に、本システムが充電されます。
※充電に切り替わる瞬間に一瞬の停電が起こります。
- 太陽光発電システムの発電電力が少なくなり、特定コンセントの電気製品の消費電力を賅いきれなくなった場合に、太陽光発電システムは出力を停止し、本システムからの放電に切り替わります。
※放電に切り替わる瞬間に一瞬の停電が起こります。

停電から復旧した場合

停電から復旧すると、本システムは停電前の連系運転モードに戻ります。特別な操作は必要ありません。

- 電力会社との協議で定められた時間内(最大5分)は、復電しても停電時の動作になります。復電後、電力会社との協議で定められた時間を経過すると、本システムは通常時のモードで動作します。
- 特定コンセント用に手動の切替スイッチを使用している場合は、切替スイッチを「系統」側にしてください。
- 停電中に太陽光発電システムの発電電力を本システムに充電するために、太陽光発電システムの運転モードを切り替えていた場合は、太陽光発電システムの運転モードを戻す必要があります。太陽光発電システムの運転モードの切り替え方法は、ご使用の太陽光発電システムの取扱説明書を参照してください。

停電時に電池残量がなくなってしまった場合

停電時に電池残量がなくなってしまった場合には、蓄電システムが停止します。停止した状態が続くと本体保護でシステムがシャットダウンします。シャットダウンした場合は、太陽光発電から蓄電システムに電力が供給されるか、復電後に復帰します。

■ 太陽光発電の自立出力が蓄電システムに接続されている場合

「停電が発生した場合」と同様に、太陽光発電を自立運転に切り替えます。太陽光発電から蓄電システムに電力が供給されると、充電が開始されます。

1. 太陽光発電を自立運転に切り替えてください。
2. 特定コンセントからすべての機器を外してください。
3. 電力が太陽光発電から供給されると、充電が開始されます。

※運転が開始しない場合は、室内リモコンで運転が開始されていることを確認してください。

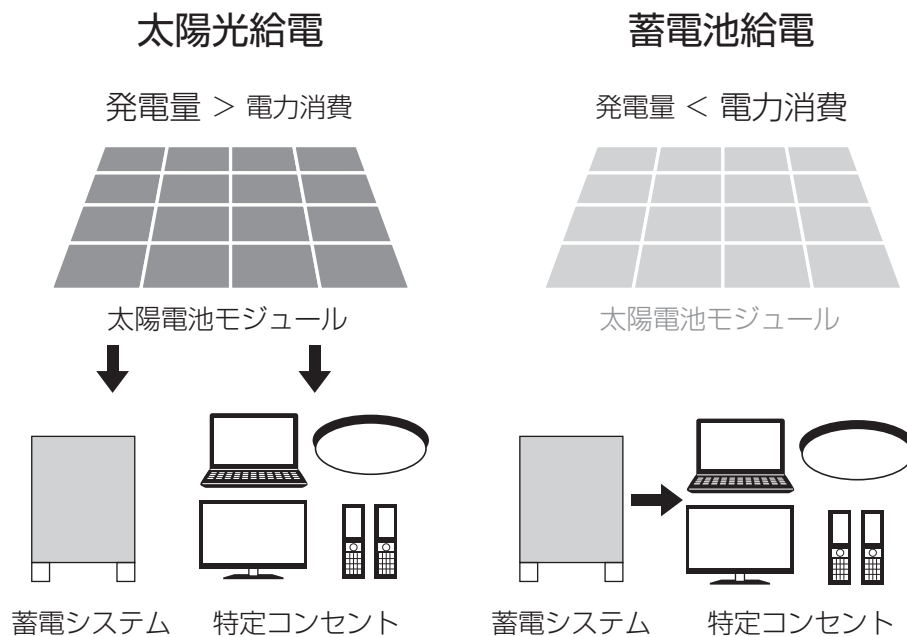
■ 太陽光発電の自立出力が蓄電システムに接続されていない場合

停電から復旧すると自動で充電を開始します。通常モード・グリーンモードの場合、電池残量が10%に到達すると強制充電を終了します。エネファームモードの場合、電池残量が30%に到達すると強制充電を終了します。

※充電されない場合は、分電盤内の蓄電システム用ブレーカが「ON」であることを確認してください。それでも復帰しない場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

停電時の給電について

■ 太陽光発電システムの自立出力が蓄電池に接続されている場合



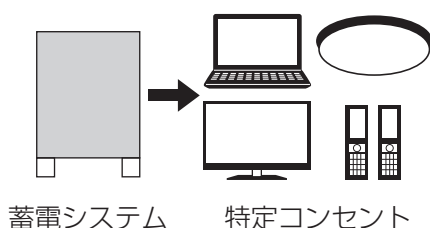
太陽電池で発電した電力と負荷電力を判断しながら太陽光給電と蓄電池給電を自動で切り替えます。

- 太陽光給電は、太陽電池から特定コンセントへの給電、蓄電システムへの充電を行います。
特定コンセントでの消費電力が大きいと充電できない場合があります。太陽電池で発電した電力が小さい場合、特定コンセントへの給電、蓄電システムへの充電ともにできない場合があります。
電池残量がなくなってしまう場合は、特定コンセントへの給電状態によらず、太陽電池で発電した電力を強制的に充電します。

- 全ての太陽光パワーコンディショナについて本製品の動作を保証するものではありません。機種によっては、本製品の充電に必要な電力を発電していても、ノイズの影響などで充電が正常に行われられない可能性があります。
- 太陽光パワーコンディショナの自立出力は、天候の変化などによって不安定になります。発電量がPV自立引込電流で設定した電流値に必要な電力を下回った場合、太陽光パワーコンディショナが過負荷(出力が足りない状態)を検出して停止することがあります。停止した場合は本製品への充電を中止し、天候の回復を待ってから充電を試みてください。
- 過負荷の状態で大製品への充電を継続した場合、太陽光パワーコンディショナの機種によっては自立出力の自動復帰と停止を繰り返すことがあります。(自立出力が停止している間は、本製品の蓄電池から接続機器へ電力を供給します)
- 特定コンセントに接続している機器の電流波形によっては機器の消費電力が本製品の最大出力値以内であっても太陽光パワーコンディショナが過負荷となり自立出力を停止する場合があります。

- 蓄電池給電は、蓄電システムから特定コンセントに給電を行います。

■ 太陽光発電システムの自立出力が蓄電池に接続されていない場合



- 蓄電システムから特定コンセントに給電を行います。

放電を停止する電池残量を設定する

系統連系運転時の放電を停止するときの電池残量(放電下限SOC)を設定できます。

本設定は停電時に電池残量を残しておくための設定となります。

なお、電気のご使用状況等によっては、設定した電池残量を下回る場合があります。

自立運転時とECHONET Lite(→ P.31)対応機器から放電の制御を受け付けた場合は、放電時の放電停止の電池残量は0%です。

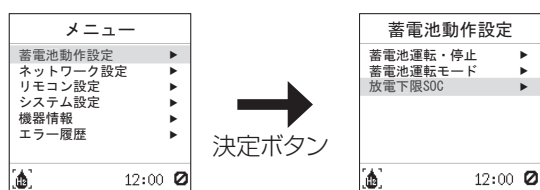
工場出荷時 30%

1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す

2 メニュー→蓄電池動作設定→放電下限SOCを選ぶ

放電下限SOCの画面が表示されます。

- ・ 上下ボタンでカーソル移動し、決定ボタンで選択を行うことができます。



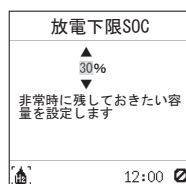
3 上下ボタンで下限値を設定し、決定ボタンを軽く押す

エネファームモード以外するとき

上下ボタンで、0%、10%、20%、30%、40%、50%の中から選択できます。

エネファームモードのとき

上下ボタンで、0%、10%、20%、30%の中から選択できます。



充放電の時間を設定する

通常運転時の充電開始/停止時刻、放電開始/停止時刻を設定できます。

運転モードが通常モードの場合、充電タイマーと放電タイマーの両方が設定できます。通常モードでは、充電タイマーは必ず設定してください。設定されていないと蓄電池の残量が低下し、放電できなくなります。また、放電タイマーを「有効」に設定しなくても、充電タイマー時間外の場合は負荷容量に合わせて放電(最大1.0kW)します。運転モードがグリーンモードの場合、充電タイマーと充電上限SOCを設定できます。充電上限SOCは充電タイマー時間内のみ適用されます。充電タイマー時間外の場合、充電上限SOCは100%です。通常モードでは充電タイマー時間内外に関係なく、充電上限SOCは100%です。運転モードを変更した場合は、充電タイマーの設定時間が正しい時間であることをご確認ください。

※周囲温度が低い場合や高い場合、設定された充電タイマー時間内に100%にならない場合がありますが、故障ではありません。

運転モードがエネファームモードの場合、充放電の時刻設定はできません。

工場出荷時	通常モード	: 充電タイマー(有効: 23:00~6:59)、放電タイマー(無効: 7:00~22:59)
	グリーンモード	: 充電タイマー(有効: 23:00~6:59)、充電上限SOC(50%)

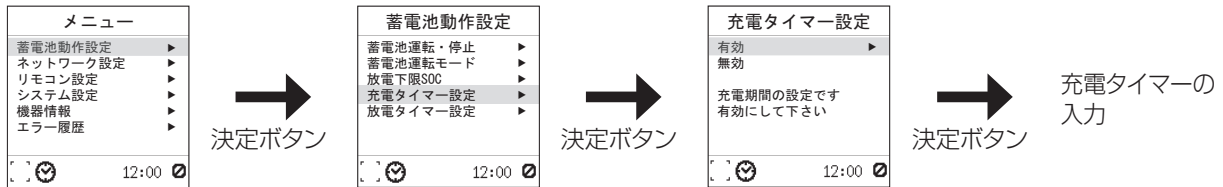
●充電タイマーの設定

1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す

2 メニュー→蓄電池動作設定→充電タイマー設定から、充電タイマーの設定をする

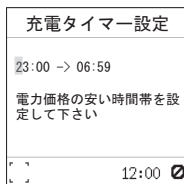
グリーンモード時に設定不要の場合は「無効」を選択してください。

- 上下ボタンでカーソル移動し、決定ボタンで選択を行うことができます。

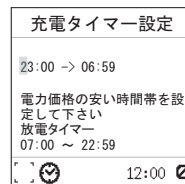


- 放電タイマーが無効もしくは有効のとき、充電タイマー設定では以下の画面が表示されます。

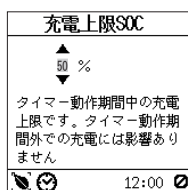
放電タイマー無効の場合



放電タイマー有効の場合



グリーンモードの場合は、充電タイマー設定後に充電上限SOCを設定してください。50~100%の範囲内において10%刻みで選択可能です。



充放電の時間を設定する つづき

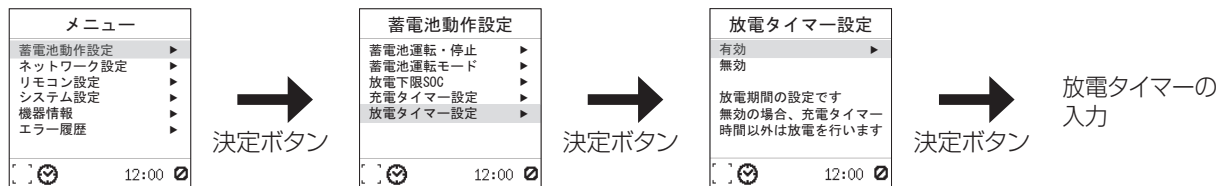
●放電タイマーの設定 (通常モードのみ設定可能)

1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す

2 メニュー→蓄電池動作設定→放電タイマー設定から、放電タイマーの設定をする

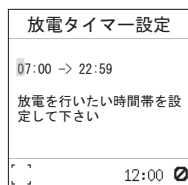
設定不要の場合は「無効」を選択してください。

- 上下ボタンでカーソル移動し、決定ボタンで選択を行うことができます。

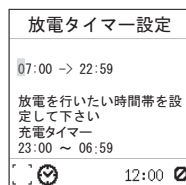


- 充電タイマーが無効もしくは有効のとき、放電タイマー設定では以下の画面が表示されます。

充電タイマー無効の場合



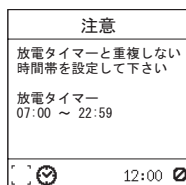
充電タイマー有効の場合



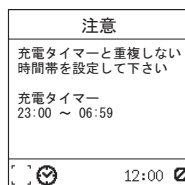
充電タイマー時間と放電タイマー時間を重ねて設定した場合は、以下の警告を表示します。

- 充電タイマー設定「放電タイマーと重複しない時間帯を設定して下さい」と表示
- 放電タイマー設定「充電タイマーと重複しない時間帯を設定して下さい」と表示

充電タイマー設定の場合



放電タイマー設定の場合



PV自立引込電流を設定する

PVの自立引込電流を設定できます。

PV自立引込電流とは、停電時に太陽光パワーコンディショナの自立出力から蓄電池に充電する際の充電量の上限を設定するものです。太陽光パワーコンディショナの発電電力と蓄電システムと接続している家電製品の電力使用量とを比較判断しながら、設定された電流値を超えない範囲で蓄電池は充電を行います。太陽光パワーコンディショナの出力がある間は蓄電池から放電できません。

自立運転時に太陽光発電システムが発電しているにも関わらず、蓄電システムに充電出来ていない場合に、本設定を変更してください。

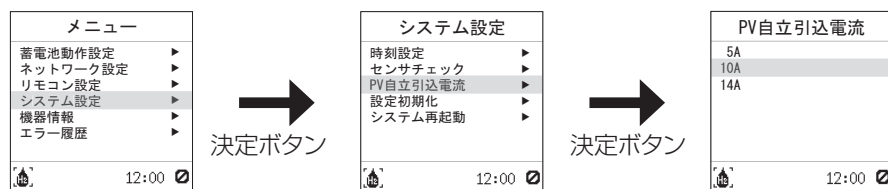
- 通常は設置工事時の値から設定を変更する必要はありません。
- 本設定は施工時に「補助入力なし」に設定した場合は変更出来ません。

1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す

2 メニュー→システム設定→PV自立引込電流を選び、決定ボタンを軽く押す

設定の方法は、「5A」、「10A」または「14A」を選択します。

- ・上下ボタンでカーソル移動し、決定ボタンで選択を行うことができます。



【設定目安】

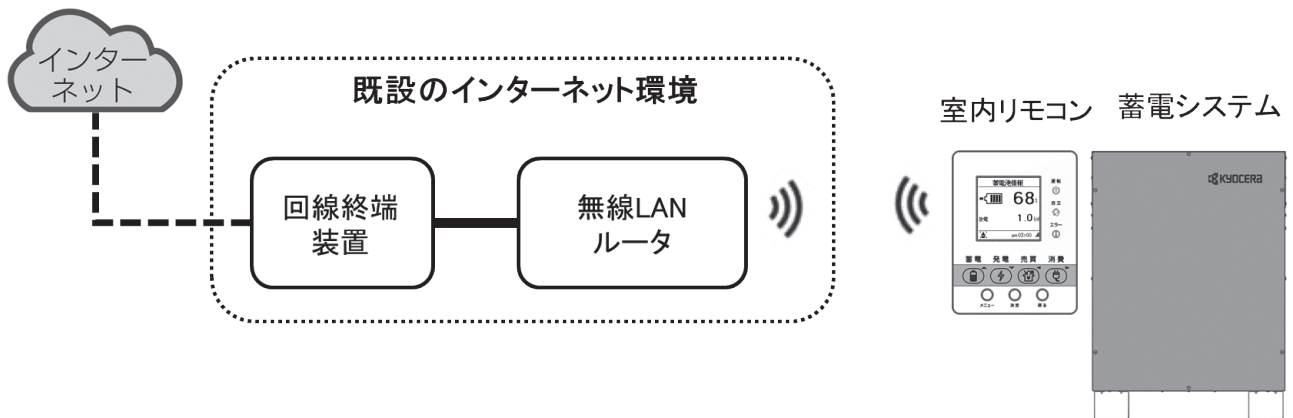
- 5A: 太陽光発電システムの自立出力が約1.2kW未満
- 10A: 太陽光発電システムの自立出力が約1.2kW以上1.8kW未満
- 14A: 太陽光発電システムの自立出力が約1.8kW以上

ネットワークの設定をする

ネットワークの接続やIPアドレスの設定、ネットワーク情報の設定ができます。

ECHONET Lite対応のHEMSと接続することができます。

※本システムでは通常、ネットワーク接続は使用しないので、設定の必要はありません。



工場出荷時 ECHONET Lite設定: 無効

●Wi-Fiの接続を設定する

1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す

2 メニュー→ネットワーク設定→Wi-Fi接続設定から、それぞれの接続方法を設定する

・ 上下ボタンでカーソル移動し、決定ボタンで選択を行うことができます。



Wi-Fi接続設定は、「WPS-PBC接続」、「WPS-PIN接続」、「選択接続」、「手動接続」から選びます。

WPS-PBC接続	WPSプッシュボタン方式を使用し、無線LANルーターとの接続設定を自動的に行います。
WPS-PIN接続	WPS-PINコード方式を使用し、無線LANルーターとの接続設定を自動的に行います。
選択接続	周囲のWi-Fiを検索し、接続先を選択して接続できます。
手動接続	無線LANルーターのSSID、接続するためのセキュリティ設定、パスワード、IP設定を行います。

※WPSは、Wi-Fi Protected Setupの略で、無線LAN端末と簡単に無線接続させるための機能です。

無線LANルーターに「WPS」「AOSS」「らくらく無線スタート」と表記されたボタンがある場合は、「WPS-PBC接続」を選択し接続を試みてください。上記のボタンがない場合は、「選択接続」または「手動接続」を選択し接続を試みてください。「WPS-PIN接続」は、無線LANルーターによってPINコードの入力方法が異なる為、入力方法がわかる場合のみ選択してください。

設定の詳細は「無線LANルーターとの接続手順」(⇒ P.29～P.31)をご確認ください。

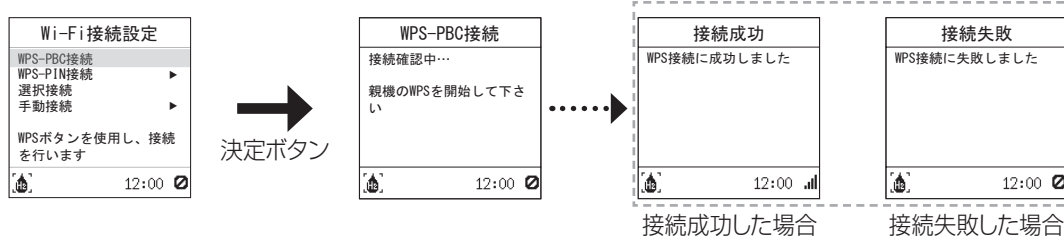
室内リモコンと無線LANルーターとの接続が完了すると、室内リモコン画面に  が表示されます。

無線LANルータとの接続手順

● WPS-PBC接続を使用する場合

Wi-Fi接続設定から「WPS-PBC接続」を選び、決定ボタンを軽く押し、接続する無線LANルータとWPS接続を開始する

※無線LANルータ側のWPSを開始する方法は、お手持ちの無線LANルータの取扱説明書をご確認ください。

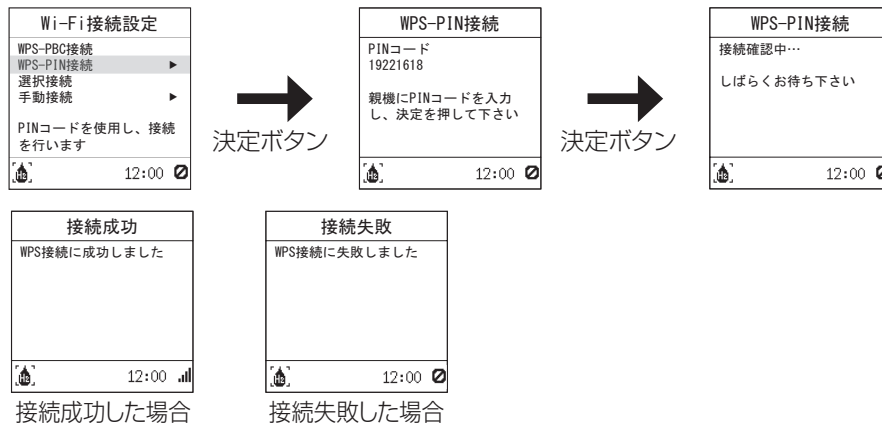


● WPS-PIN接続を使用する場合

① Wi-Fi接続設定から「WPS-PIN接続」を選び、決定ボタンを軽く押す

② 表示された8桁のPINコードを無線LANルータに入力後、決定ボタンを軽く押し、WPS接続を開始する

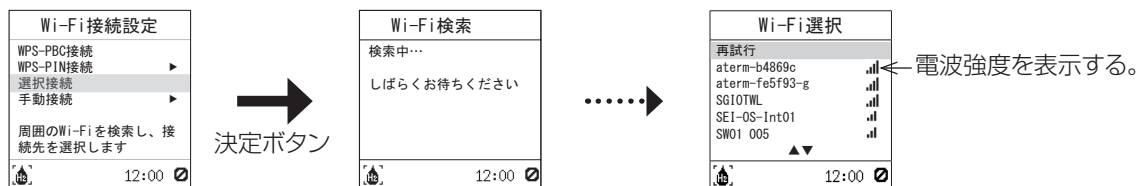
※無線LANルータ側のPINコード入力方法は、お手持ちの無線LANルータの取扱説明書をご確認ください。



● 選択接続を使用する場合

① Wi-Fi接続設定から「選択接続」を選び、決定ボタンを軽く押す

② 上下ボタンで接続するアクセスポイントを選び、決定ボタンを軽く押す



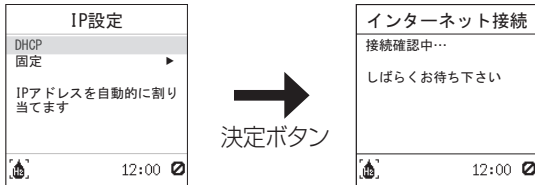
③ セキュリティ設定が必要なアクセスポイントを選択した場合、パスワード入力画面になるので無線LANルータに記載のパスワードを入力し、「確定」にカーソルを合わせ、決定ボタンを軽く押し「アルファベット」と「数字・記号」の画面切り替えは、上下ボタンで移動します。



ネットワークの設定をする つづき

④ IPの設定を行う

※基本的には「DHCP」を選択してください。「固定」を選択して正しい設定が行われなかった場合、ネットワークの接続ができなくなる可能性があります。

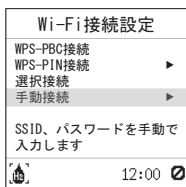


IP設定が「固定」の場合は、「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」の設定を行ってください。



●手動接続を使用する場合

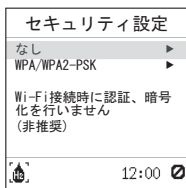
① Wi-Fi接続設定から「手動接続」を選び、決定ボタンを軽く押す



② 無線LANルータのSSIDを入力し、「確定」にカーソルを合わせ、決定ボタンを軽く押す 「アルファベット」と「数字・記号」の画面切り替えは、上下ボタンで移動します。



③ セキュリティ設定は、「なし」または「WPA/WPA2-PSK」を右ボタンまたは決定ボタンで選択する

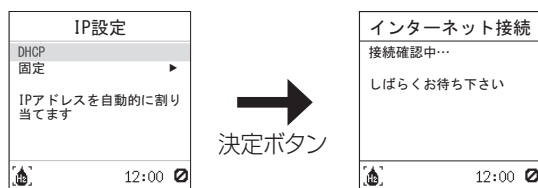


④ セキュリティ設定がWPA/WPA2-PSKの場合、無線LANルータに記載のパスワードを入力し、「確定」にカーソルを合わせ、決定ボタンを軽く押す 「アルファベット」と「数字・記号」の画面切り替えは、上下ボタンで移動します。

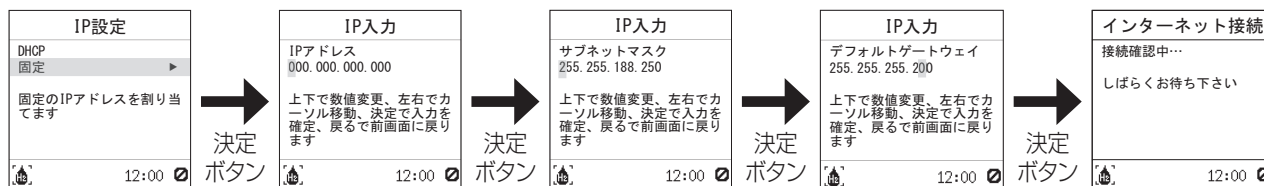


⑤ IPの設定を行う

※基本的には「DHCP」を選択してください。「固定」を選択して正しい設定が行われなかった場合、ネットワークの接続ができなくなる可能性があります。

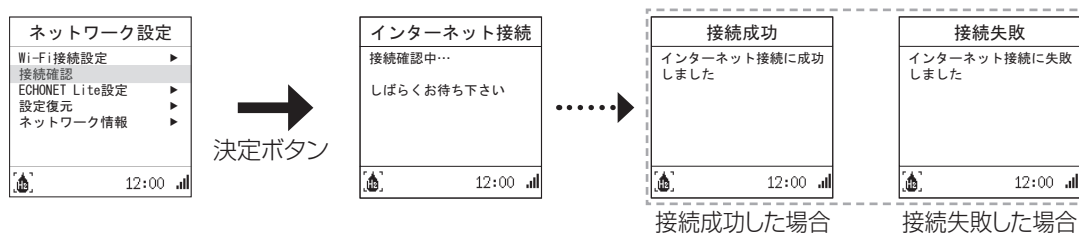


IP設定が「固定」の場合は、「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」の設定を行ってください。



インターネットとの接続手順

- ① 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す
- ② メニュー→ネットワーク設定→接続確認を選び、決定ボタンを軽く押す



※接続の確認には数分程度の時間がかかる場合があります。

※Wi-Fiが正しく接続ができている場合は、室内リモコン表示画面右下(⇒ P.13)に電波強度のアンテナが表示されます。また、ネットワーク情報(⇒ P.33)にSSID、IPアドレスの接続情報が表示されます。

※接続に失敗した場合、「NO2:WLAN切断状態が継続しています」または「NO3:インターネットへ接続できない状態が継続しています」のメッセージが表示されます。対処方法については「メッセージの種類」(⇒ P.49)をご確認ください。

●ネットワーク設定にあたってのお知らせ事項

ネットワーク設定に伴い、本製品の保守・品質改善を目的として、ネットワークを介して、製造元またはその委託先から機器の稼働状況などのデータを定期的に収集させていただくことが可能になります。収集・保管させていただくデータは製品の保守・品質改善の目的のみに使用し、保管先において適切に管理を行います。

●ECHONET Liteの接続を設定する

メニュー→ネットワーク設定→ECHONET Lite設定を選び、決定ボタンを軽く押し、「無効」、「取得のみ有効」、「設定・取得有効」を設定する

有効にすることでECHONET Lite対応のコントローラと接続が可能です。



※ECHONET Liteは、エコーネットコンソーシアムが策定したHEMS(Home Energy Management System)の通信規格です。ECHONET Lite対応機器から充電・放電の制御を受け付けることができます。操作方法に関しては対応機器の取扱説明書をご確認ください。ECHONET Lite Ver.1.13、Appendix Release Mに対応しています。

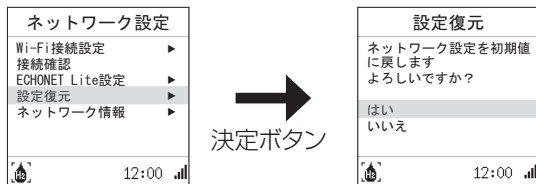
ネットワークの設定をする つづき

●ネットワークの設定を復元する

ネットワーク設定を初期値に戻します。

メニュー→ネットワーク設定→設定復元を選び、「はい」にカーソルを合わせ、決定ボタンを軽く押す
「いいえ」を選ぶとネットワークの設定復元をキャンセルして終了します。

- 上下ボタンでカーソル移動し、決定ボタンで選択を行うことができます。

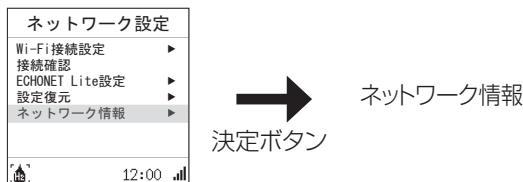


ネットワークの設定を確認する

ネットワークの接続やIPアドレスの設定、ネットワーク情報の確認ができます。

1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す

2 メニュー→ネットワーク設定→ネットワーク情報を選び、決定ボタンを軽く押す



3 上下ボタンで確認する情報を選ぶ

ネットワークの情報を確認できます。



※「識別番号(ノード)」および「識別番号(蓄電池)」はECHONET Liteの設定が「設定・取得有効」または「取得のみ有効」時に表示されます。

SSID	Wi-Fiにおける親機(AP)の識別名です。接続先のルータのSSIDが表示されます。※1
MACアドレス	ネットワーク機器のハードウェアとしてのアドレスです。変更することはできません。
IPアドレス	ネットワーク上の機器を識別するためのアドレスです。
サブネットマスク	IPアドレスのうちネットワークアドレスとホストアドレスを識別するための数値です。
デフォルトゲートウェイ(GW)	内部のネットワークから、外部にあるネットワークに通信を行う場合の出入口の役割を果たすように設定されたルータ等のアドレスです。
識別番号(ノード)※2	ECHONET Liteのノードプロファイル(ECHONET Lite対応端末についての共通情報を管理するオブジェクト)を識別するためのIDです。
識別番号(蓄電池)※2	ECHONET Liteの蓄電池クラス(ECHONET Lite対応端末についての共通情報を管理するオブジェクト)を識別するためのIDです。

※1: 全角は正しく表示されません。

※2: ECHONET Liteの設定が「設定・取得有効」または「取得のみ有効」にときに表示されます。

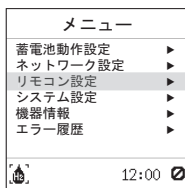
画面表示や操作音の設定を変える

画面の点灯時間やコントラスト、操作音、時刻表示などを、お好みで調整できます。

工場出荷時	LCD点灯設定	: 1分
	LCDコントラスト	: LV5
	ブザー音量設定	: 小
	キー操作音設定	: あり
	時刻表示設定	: 24時間表示

1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す

2 メニュー→リモコン設定を選び、決定ボタンを軽く押す



3 上下ボタンで設定する項目を選ぶ

次の設定ができます。

LCD点灯設定	LCD消灯までの時間を設定します。 1分、5分、10分の3つの中から選択 できます。		
LCDコントラスト設定	LCDのコントラストを調整します。 Lv0(薄い)~Lv9(濃い)の10段階 の中から選択できます。		
ブザー音量設定	ブザーの音量を調整します。 なし、小、中、大の4つの中から選択で きます。		
キー操作音設定	キー操作音を使用するかどうかを設 定します。 あり、なしの2つの中から選択できます。		
時刻表示設定	時刻の表示形式を設定します。 24時間表示、am/pm表示の2つ の中から選択できます。		

日時を設定する

現在の日時を自動または手動で設定します。

手動を選択した場合、20YY/MM/DD hh:mmの形式で時刻入力を行います。

設定可能範囲は2020/01/01 00:00~2050/12/31 23:59

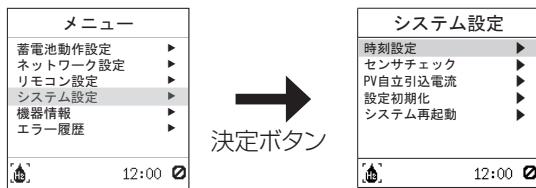
※本システムでは通常、インターネット接続は使用しないため、手動で時刻を設定します。

1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す

2 メニュー→システム設定→時刻設定を選び、決定ボタンを軽く押す

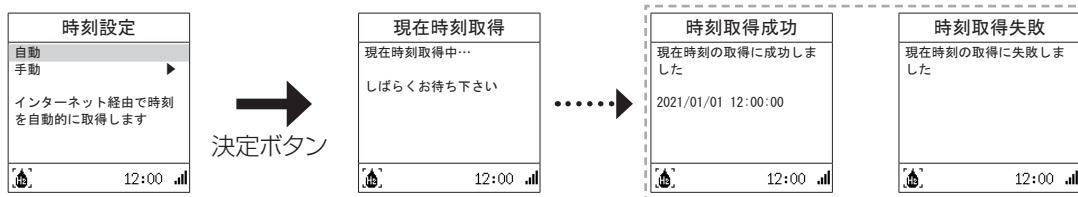
設定の方法は、「自動」または「手動」を選択します。

- ・上下ボタンでカーソル移動し、決定ボタンで選択を行うことができます。



●自動を選択した場合

インターネット経由で時刻を自動的に取得します。



注: 失敗した場合はネットワークの接続を確認し、再度実施してください。または手動で設定してください。

●手動を選択した場合

手動で時刻を入力します。



注: 手動を選択して時刻設定を行った場合、長年使用されると進みや遅れが生じることがあります。定期的に修正することをおすすめします。現在時刻に進みや遅れが生じると、時間帯別の電気料金をご利用の場合は、割高な電気料金で充電を行ってしまう等の問題が発生する可能性があります。

センサチェックを行う

本項目は、系統CTセンサが正常に動作するか確認を行います。

- 発電CTセンサ、補足CTセンサの確認は行いません。
- 通常はお客様で実施いただく必要はありません。

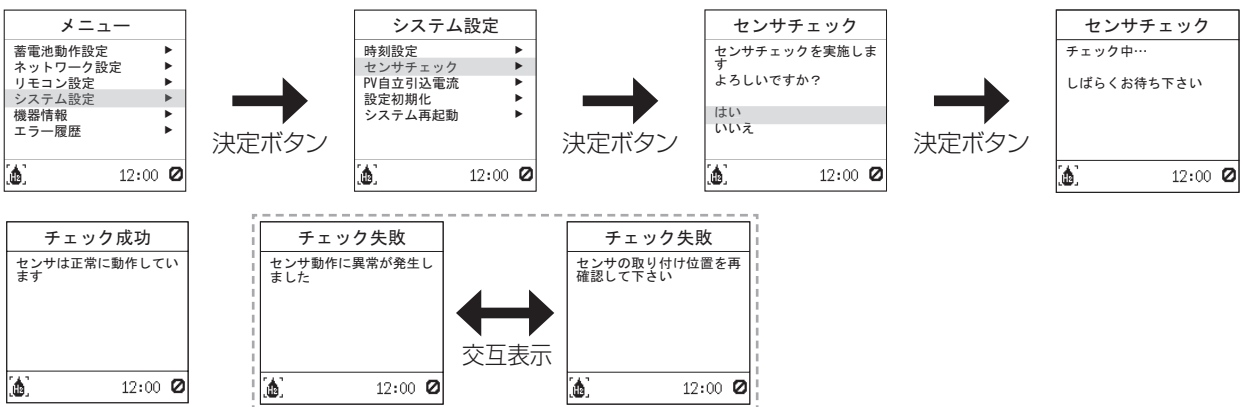
1 蓄電システムの運転を停止する(⇒ P.18)

2 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す

3 メニュー→システム設定→センサチェックを選び、「はい」にカーソルを合わせ、決定ボタンを軽く押す

「いいえ」を選択するとセンサチェックをキャンセルして終了します。

- ・ 上下ボタンでカーソル移動し、決定ボタンで選択を行うことができます。

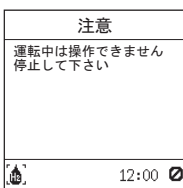


センサチェック
成功した場合

センサチェック失敗した場合

※センサチェックに失敗した場合は、CTセンサの取付を確認してください。ご不明な場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

- ・ 運転中にセンサチェックを実施すると注意が表示されます。



設定を初期化する

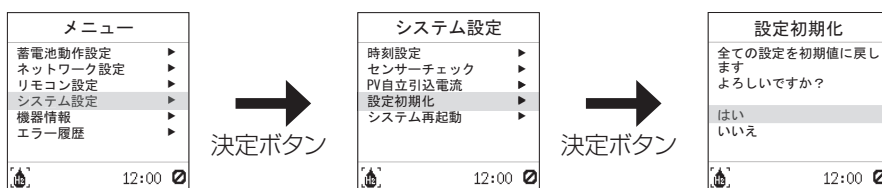
システムの設定を初期化できます。
設定を初期状態に戻したい場合に実行してください。
●初期化した場合は、下表の項目が初期化されます。

1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す

2 メニュー→システム設定→設定初期化を選び、「はい」にカーソルを合わせ、決定ボタンを軽く押す

「いいえ」を選択すると初期化をキャンセルして終了します。

・上下ボタンでカーソル移動し、決定ボタンで選択を行うことができます。



3 初期化が始まります

下記項目が初期化されます。

蓄電池設定	設定初期化後の設定(初期値)
運転・停止状態	停止
蓄電池運転モード	エネファームモード(契約設定がエネファーム100V、エネファーム200V以外は、通常モード)
放電下限SOC	30%
充電タイマー情報(通常モード時)	有効/23:00~6:59
充電タイマー情報(グリーンモード時)	有効/23:00~6:59、充電上限SOC/50%
放電タイマー情報(通常モード時)	無効/7:00~22:59
リモコン設定	設定初期化後の設定(初期値)
LCD点灯設定	1分
LCDコントラスト	LV5
ブザー音量設定	小
キー操作音設定	あり
時刻表示設定	24時間表示
ネットワーク設定	設定初期化後の設定(初期値)
Wi-Fi接続設定	施工時の設定に初期化されます
ECHONET Lite設定	無効
システム設定	設定初期化後の設定(初期値)
時刻設定(自動/手動)	施工時の設定に初期化されます
PV自立引込電流	施工時の設定に初期化されます

システムを再起動する

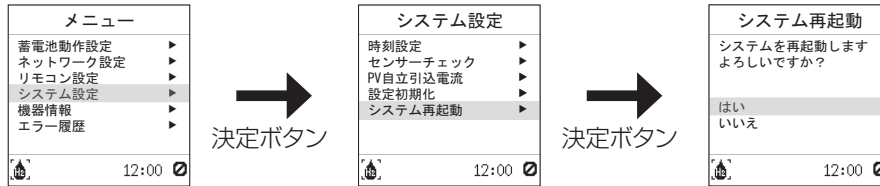
システムの再起動ができます。

1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す

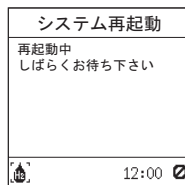
2 メニュー→システム設定→システム再起動を選び、「はい」にカーソルを合わせ、決定ボタンを軽く押す

「いいえ」を選ぶとシステム再起動をキャンセルして終了します。

・上下ボタンでカーソル移動し、決定ボタンで選択を行うことができます。



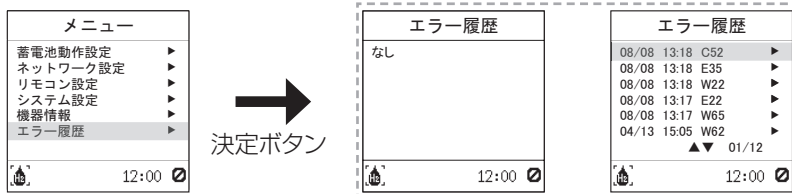
3 システム再起動が始まります



エラー履歴を確認する

エラー履歴が確認できます。

- 1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す
- 2 メニュー→エラー履歴を選び、決定ボタンを軽く押す



機器情報を確認する

機器が持っている情報や設定内容を確認できます。

1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す

2 メニュー→機器情報を選び、決定ボタンを軽く押す

メニュー	
蓄電池動作設定	▶
ネットワーク設定	▶
リモコン設定	▶
システム設定	▶
機器情報	▶
エラー履歴	▶
12:00	

3 上下ボタンで確認する項目を選ぶ

次の内容が確認できます。

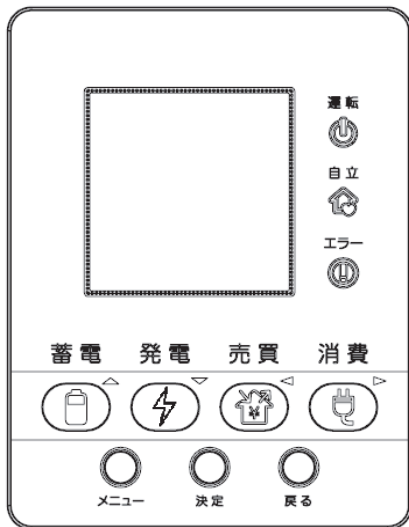
機器情報 リモコン 製造番号 XXXXXXXX リモコン S/W Ver. XXXXXXXX ▲▼	機器情報 本体接続台数 1台 モデル EGS-LM0320AG ▲▼	機器情報 契約設定 エネファーム100V エネファーム連系相 U相 発電CT / 補足CT あり / あり ▲▼	機器情報 太陽光発電 あり / 0.0kW 太陽光以外の発電装置 あり 契約容量 40A ▲▼	機器情報 補助入力 あり PV自立引込電流 10A 充電再開時間 10分 ▲▼	機器情報 設置日 2022/11/11 本体 製造番号 XXXXXXXX 本体 S/W Ver. XXXXXXXX ▲▼
機器情報 交流過電圧検出 115.0V 1.0秒 交流不足電圧検出 80.0V 1.0秒 ▲▼	機器情報 周波数上昇検出 51.0 / 61.2 Hz 1.0秒 周波数低下検出 47.5 / 57.0 Hz 2.0秒 ▲▼	機器情報 復帰時遮断装置投入 300秒 ▲▼	機器情報 系統電流 U: 10.3A W: 10.4A 系統電圧 U: 101.1V W: 101.2V ▲▼	機器情報 発電CT電流 1.0A 補足CT電流 1.0A ▲▼	

室内リモコンをリセットする

室内リモコンのマイコンをリセットすることができます。室内リモコンが動かなくなったときに行ってください。リセットボタンを短押し(1秒未満)をすると蓄電システムが再起動します。起動には数秒かかります。

- リセットボタンを5秒程度長押しすると、蓄電システムに記録している以下のデータを、工場出荷時の値に初期化されますのでご注意ください。
 - ・時刻設定
 - ・積算電力データ
 - ・「設定を初期化する」(➡ P.37)で初期化される項目

正面



右側面



爪楊枝などの先がとがったものでリセットボタンを押す。強い力で押すと破損するおそれがあります。

メニューから設定できる項目

第一階層(メニュー)	第二階層(メニュー)	第三階層(メニュー)
蓄電池動作設定	蓄電池運転・停止	運転、停止
	蓄電池運転モード	通常モード ※契約設定がエネファーム100V、エネファーム200Vの場合は選択不可
		グリーンモード ※契約設定がシングルの場合のみ選択可能
		エネファームモード ※契約設定がエネファーム100V、エネファーム200Vの場合のみ選択可能
	放電下限SOC	0%、10%、20%、30%
		40%、50% ※エネファームモードは設定不可
	充電タイマー設定	有効、無効 ※エネファームモードは設定不可
放電タイマー設定	有効、無効 ※グリーンモード、エネファームモードは設定不可	
ネットワーク設定	Wi-Fi接続設定	WPS-PBC接続
		WPS-PIN接続 (PINコード入力)
		選択接続
		手動接続 (SSID、パスワード、IP設定)
	接続確認	—
	ECHONET Lite設定	無効、取得のみ有効、設定・取得有効
	設定復元	はい、いいえ
ネットワーク情報	—	
リモコン設定	LCD点灯設定	1分、5分、10分
	LCDコントラスト	Lv0(薄い)~Lv9(濃い)
	ブザー音量設定	なし、小、中、大
	キー操作音設定	あり、なし
	時刻表示設定	24時間表示、am/pm表示
システム設定	時刻設定	自動、手動
	センサチェック	はい、いいえ
	PV自立引込電流	5A、10A、14A (補助入力設定ありの場合、設定可能)
	設定初期化	はい、いいえ
	システム再起動	はい、いいえ
機器情報	—	—
エラー履歴	—	—

こんなときは

ブザーが鳴ったとき

ブザーが鳴ったときは、室内リモコンの画面に表示されるメッセージの内容にしたがって、処置してください。

機器から発生する音について

以下の音は本製品の異常ではありません。

ジージー音	
チリチリ音	製品内部の回路が動作するときに発生する音です。
チャリチャリ音	
カチャ音	製品内部の機械部分が動作するときに発生する音です。 (運転開始時と停止時に発生します)

●運転時の高周波音はまれに、聴覚感度が高い方にとっては不快に感じる場合があります。

アンペアブレーカが頻繁に落ちる場合

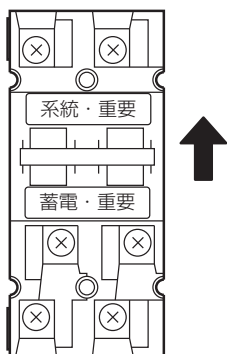
100Aまでのアンペアブレーカが設置されているご家庭で、アンペアブレーカが頻繁に落ちる場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

アンペアブレーカの容量を変更する場合

アンペアブレーカの容量を変更する場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

蓄電システムが停止した(停止させる)場合

- 分電盤内の蓄電システム用ブレーカを「OFF」にしてください。
分電盤内に「蓄電システム」のシールが貼ってあります。
※手動の切替スイッチを使用している場合は、必ず分電盤内の切替スイッチを「系統」側にしてください。



スイッチを上にあげて、「系統」側に切り替える。

※蓄電システムの故障時以外は、契約ブレーカ、主幹漏電ブレーカおよび蓄電システム用ブレーカを「OFF」にしないでください。長期間放置されると蓄電池が充電されないため、使用できなくなる可能性があります。分電盤内の蓄電システム用ブレーカを「OFF」にしたまま、長期間放置される場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

こんなときは つづき

特定コンセントを接続しているブレーカが頻繁に落ちる場合

特定コンセントへの定格出力は1500Wです。接続している家電製品を減らす等、定格を超えないように工夫してください。

停電時に本体周囲温度が高温または低温でご使用される際は、電池保護のため放電出力が定格より小さくなる場合があります。接続している家電製品をさらに減らしてください。なお、通常の系統連系運転においても本体周囲温度が高温または低温時には、電池保護のため充放電出力が定格より小さくなる場合があります。

停電時に電池残量がなくなってしまった場合

●停電時に電池残量がなくなってしまった場合には、蓄電システムが停止します。停止した状態が続くと本体保護でシステムがシャットダウンします。シャットダウンした場合は、太陽光発電から蓄電システムに電力が供給されるか、復電後に復帰します。

■太陽光発電の自立出力が蓄電システムに接続されている場合

「停電が発生した場合」と同様に、太陽光発電を自立運転に切り替えます。太陽光発電から蓄電システムに電力が供給されると、充電が開始されます。

1. 太陽光発電を自立運転に切り替えてください。
2. 特定コンセントからすべての機器を外してください。
3. 電力が太陽光発電から供給されると、充電が開始されます。

※運転が開始しない場合は、室内リモコンで運転が開始されていることを確認してください。

■太陽光発電の自立出力が蓄電システムに接続されていない場合

停電から復旧すると自動で充電を開始します。通常モード・グリーンモードの場合、電池残量が10%に到達すると強制充電を終了します。エネファームモードの場合、電池残量が30%に到達すると強制充電を終了します。

※充電されない場合は、分電盤内の蓄電システム用ブレーカが「ON」になっていることを確認してください。それでも充電されない場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

室内リモコンの画面が表示されない場合

●停電状態以外で、室内リモコンの画面が表示されない場合は、蓄電システム用ブレーカが「ON」になっていることを確認してください。本体の保護でシステムがシャットダウンしている可能性があります。蓄電システム用ブレーカが「ON」になっていて、室内リモコンの画面が表示されない場合は、室内リモコンが故障している可能性があります。お買い上げの販売会社へご連絡ください。

●停電状態で、室内リモコンの画面が表示されない場合は、電池残量がない場合も考えられます。「停電時に電池残量がなくなってしまった場合」(➡ 上記)の処置を行っても室内リモコンが表示されない場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

長期不在の場合

●長期不在の場合でも、通常の連系運転(➡ P.17)で運転したまま、分電盤の「蓄電システム用ブレーカ」、「契約ブレーカ」と「主幹漏電ブレーカ」は「OFF」にしないでください。

エネファームモードでお使いの場合

- 電気のご使用量が少ない春や秋の季節、長時間ご不在時など、長時間満充電の状態が続くと、電池の保護のため、電気のご使用量等に関係なく強制的に放電状態*や待機状態になり、電池残量の上限が85%に変更されます。電池残量の上限が85%の場合は、室内リモコンの表示で確認することができます。(➡ P.13)
強制放電中はエネファームの発電出力が大きく低下することがありますが、終了後は通常の発電状態に戻ります。また、電気の使用量が多くなり、電池残量を放電下限まで使うと電池残量の上限は100%になります。
※室内リモコンの表示画面に「強制放電」のメッセージが表示されます。電池残量が33%に到達すると強制放電を終了します。

■放電出力について

住宅内の電気は、その電気配線方法により2つのグループ(U相、W相)に分かれています。本製品の放電は、2つのグループのうち、いずれかの電気のご使用量の少ない方にあわせて放電を行います。

これは、蓄電池からの放電が商用電源に逆潮流することを防止するための措置であり、住宅全体の電気のご使用量に対して、放電量が少なくなることがありますが、異常ではありません。

本製品では、電気のご使用量が急激に変化する場合、放電を一時的に停止することがあります。放電を再開するまでに時間がかかる場合がありますが、異常ではありません。

■電池残量の充電上限について

本製品では、電池保護のため、満充電の状態が続くと強制的に放電し、その後は電池残量の充電上限を85%に変更します。電池残量の充電上限が85%のときは、残量が85%になると、次の充電は83%まで放電したあとに行います。放電下限SOCまで放電すると、電池残量の充電上限が100%になります。

電池残量100%まで充電できない場合

- 周囲温度が低い場合や高い場合、電池残量が100%まで充電できない場合がありますが、故障ではありません。

こんなエラーが出たときは

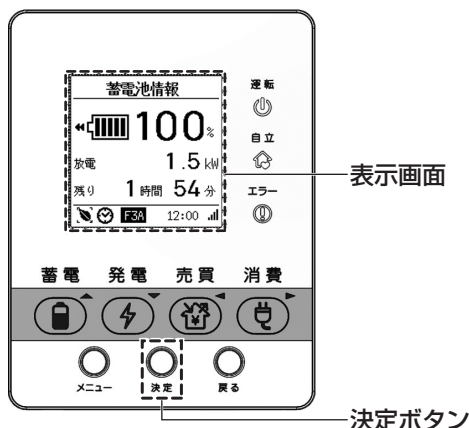
エラーコードが表示された場合、エラー音が鳴ります。しばらく放置するとエラー音は自動的に消えます。決定ボタンを1回軽く押すと、その都度エラー音を消すことができます。

エラー・お知らせ発生時の動作

- 室内リモコンからエラー音が鳴る。「エラーの種類」(➡ P.48)のエラー音参照)
- 室内リモコンのエラーアイコンが赤く点灯します。
- 室内リモコンのホーム画面にエラーコードが出ます。

表示について

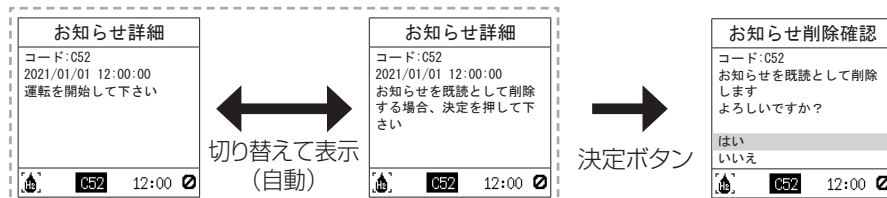
室内リモコン



以下の説明の「XX」には0～9とA～Z(英数字)が入ります。

●お知らせ表示(Cxx)

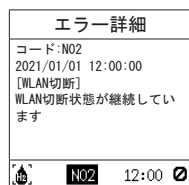
この表示が出ても故障ではありません。メッセージの内容をご確認の上、決定ボタンで削除することが可能です。



※「C50」、「C51」の場合は、数秒で自動的に表示が消え、削除されます。

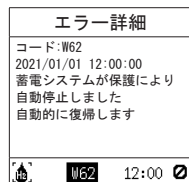
●エラー表示(Nxx)

この表示が出ても故障ではありません。詳細表示を終了する場合は、戻るボタンを押してください。



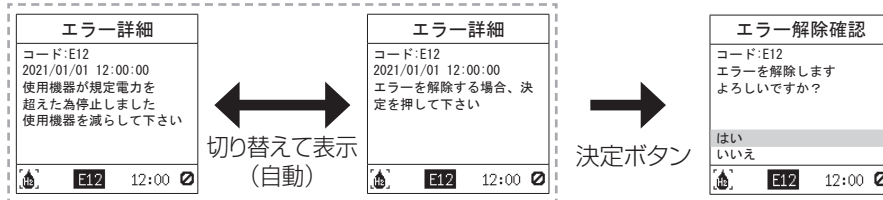
●エラー表示(Wxx)

この表示が出ても故障ではありません。自動復帰します。ただし、「W62」、「W65」は本体との通信が回復次第、自動的に復帰します。メッセージが継続して発生する場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。詳細表示を終了する場合は、戻るボタンを押してください。



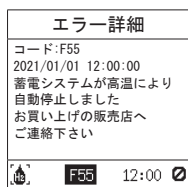
●エラー表示(Exx)

この表示が出ても故障ではありません。エラーの内容を確認の上、解除することが可能です。エラー詳細画面で決定ボタンを押し、エラーを解除することが可能です。原因を除去してもメッセージが繰り返し発生する場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。



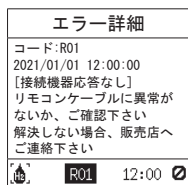
●エラー表示(Fxx)

この表示の場合は故障です。お買い上げの販売会社へご連絡ください。詳細表示を終了する場合は、戻るボタンを押してください。



●エラー表示(Rxx)

この表示の場合は故障です。お買い上げの販売会社へご連絡ください。ただし、「R01」は本体との通信が回復次第、自動的に復帰します。メッセージが継続して発生する場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。詳細表示を終了する場合は、戻るボタンを押してください。



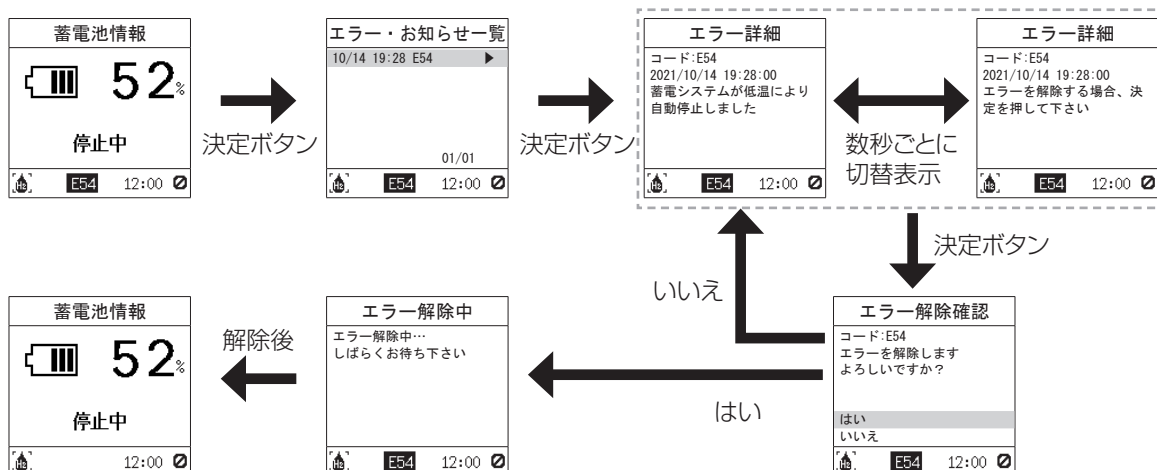
エラーを解除する

エラーコード「CXX」、「EXX」は解除可能です。エラーコード「WXX」、「NXX」は自動復帰します。エラーコード「FXX」、「RXX」はお買い上げの販売会社へご連絡ください。

※「XX」には、0～9とA～Z(英数字)が入ります。

●エラーコードの解除フロー

例)「E54」を解除



メッセージの種類

■主な異常メッセージの内容と処置

エラーコード	メッセージ	内容または処置
E22	蓄電システムが保護により自動停止しました	消費電力が大きい機器のご使用をお控えください。
E35、E37	使用機器が規定電力を超えた為停止しました 使用機器を減らして下さい	消費電力が大きい機器のご使用をお控えください。
W22	使用機器が規定電力を超えています 使用機器を減らして下さい	使用機器が規定電力を超えています。使用機器を減らしてください。
W62、W65	蓄電システムが保護により自動停止しました 自動的に復帰します	蓄電システムが保護により自動停止しました。自動復帰しない場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

■注意メッセージの内容と処置

エラーコード	メッセージ	内容または処置
C09	設置から9年経過しました	初回設置日から9年が経過しました。
C10	設置から10年経過しました	初回設置日から10年が経過しました。
C12	使用機器が規定電力を超えています 使用機器を減らして下さい	消費電力が大きい機器のご使用をお控えください。
C30	蓄電池の残量が低下しました	電池残量が少なくなっているので充電してください。
C50*	復電しました	復電しました。手動切替スイッチをご使用の場合は、分電盤内の切替スイッチを「系統」側にしてください。
C51*	停電しました	停電が発生しました。手動切替スイッチをご使用の場合は、分電盤内の切替スイッチを「蓄電」側にしてください。
C52	運転を開始して下さい	蓄電池の電圧が低下しています。室内リモコンの運転開始操作を行ってください。
N02	[WLAN切断] WLAN切断状態が継続しています	Wi-Fiに接続出来ない状態が継続しています。ご使用の無線LANルータを再起動してください。Wi-Fiルータの電波状況を確認して電波強度を確認してください。ネットワークの設定を実施してください。それでも症状が発生する場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。
N03	[インターネット切断] インターネットへ接続できない状態が継続しています	インターネットに接続出来ない状態が継続しています。回線終端装置またはモデムの再起動をしてください。蓄電システムと無線接続している無線LANルータからインターネットに接続できるか確認してください。(パソコン等でインターネットに接続できるか確認してください) ご使用の無線LANルータを再起動してください。 問題があれば、加入しているプロバイダーにご相談ください。インターネット接続に問題がない場合は、ネットワークの設定を実施してください。それでも症状が発生する場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

※瞬間的な停電時にも表示することがあります。

点検

■ 風水害または地震時の対応

- 風水害時に水没のおそれがあるときは、分電盤内の蓄電システム用ブレーカを「OFF」にし、あらかじめ運転を止めてください。
- また、水没した場合には、分電盤内の蓄電システム用ブレーカを「OFF」にし、運転を止めた状態でお買い上げの販売会社へご連絡ください。
- 地震の場合は、被害状況に応じて、お買い上げの販売会社へご連絡ください。
- 手動切替スイッチがある場合：
分電盤内の蓄電システム用ブレーカを「OFF」にした場合は、必ず切替スイッチを「系統」側にしてください。
※切替スイッチはオプションになります。

● 掃除方法

● 表面の汚れが目立つ場合

表面が汚れた場合、汚れが目立つ部分をタオルで水拭きのあと、乾いたタオルで空拭きしてください。
※薬品・洗剤等は使用しないでください。

● ヒートシンクカバーに異物が詰まった場合(日除けなし)

次の手順でヒートシンクカバー内の確認・清掃をしてください。

※蓄電システム運転中は高温になっているため、作業前に必ず蓄電システムを停止(➡ P.18)させ、30分以上経過したあと、実施してください。



[参考図: ヒートシンクカバー]

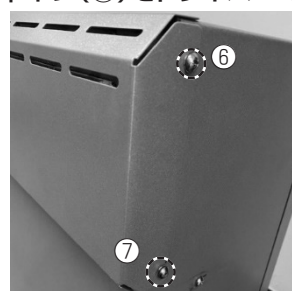
<ヒートシンクカバーの取外方法と掃除方法>

1. 蓄電システムを停止する(➡ P.18)
30分以上経過したあと、手順2に移ってください。
2. ドライバーで左右両面の上ネジ(①)を少し緩め、下ネジ(②)を取り外し、③のようにヒートシンクカバーを取り外す
3. カバー内に異物がある場合は取り除き、アルミ板(④)にも異物が付着していないか確認する。汚れている場合は乾いたタオルで空拭きする



<清掃後、ヒートシンクカバーの取付方法>

1. ヒートシンクカバーを左右両面の上ネジ(⑤)に引っ掛ける
2. ヒートシンクカバーを取り付けたあと、左右両面の上ネジ(⑥)と下ネジ(⑦)をドライバーで固定する



<蓄電システムの運転方法>

蓄電システムの運転を開始する(➡ P.17)

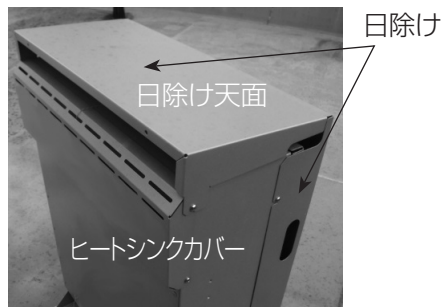
• ヒートシンクカバーに異物が詰まった場合(日除けあり)

次の手順でヒートシンクカバー内の確認・清掃をしてください。

※蓄電システム運転中は高温になっているため、作業前に必ず蓄電システムを停止(➡ P.18)させ、30分以上経過したあと、実施してください。

日除け天面を取り外したあと、ヒートシンクカバーを取り外してください。

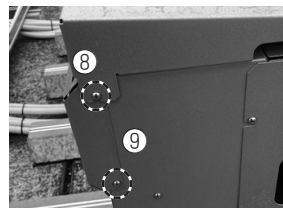
取り付ける際は、ヒートシンクカバーを取り付けたあと、日除け天面を設置します。



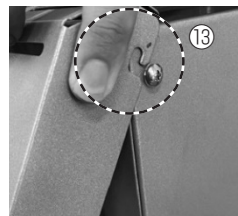
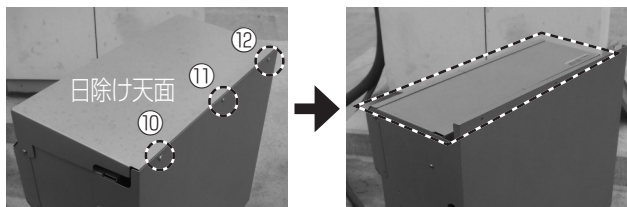
[参考図: ヒートシンクカバーと日除け]

<日除け天面とヒートシンクカバーの取外方法と掃除方法>

1. 蓄電システムを停止する(➡ P.18)
30分以上経過したあと、手順2に移ってください。
2. ドライバーで左右両面の上ネジ(⑧)を少し緩め、下ネジ(⑨)を取り外す



3. 前面のネジ(⑩、⑪、⑫)を取り外し、日除け天面を取り外す
4. ヒートシンクカバーを⑬のように取り外す



5. カバー内に異物がある場合は取り除き、アルミ板(⑭)にも異物が付着していないか確認する。汚れている場合は乾いたタオルで空拭きする



点検 つづき

＜清掃後のヒートシンクカバーと日除け天面の取付方法＞

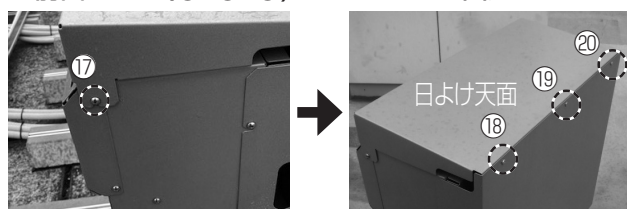
1. ヒートシンクカバーを左右両面の上ネジ(15)に引っ掛ける



2. ヒートシンクカバーを取り付けたあと、左右両面の下ネジ(16)をドライバーで固定する



3. 日除け天面を設置したあと、左右両面の上ネジ(17)と前面のネジ(18、19、20)をドライバーで固定する



＜蓄電システムの運転方法＞

蓄電システムの運転を開始する(→ P.17)

停電時の家電製品の利用について





■ 特定コンセントへの定格出力は、AC100V、1500VA(1500W)です

電気の使い過ぎや使用中の家電製品の特性により、特定コンセントに定格出力1500VAを超える電流が流れると、内部の安全装置が作動し、室内リモコンにメッセージを表示して、特定コンセントへの給電をストップします。使用温度範囲内であっても電池残量によっては蓄電池の保護のため、最大出力を給電できない場合があります。下記の家電製品の特定コンセントへの接続は避ける、または注意してください。

状態	家電種類	備考
接続禁止	途中で電源が切れると困る家電製品	医療機器、デスクトップ型パソコン等
動作しない場合がある	突入電流など、瞬間的に大きな電流が流れる家電製品	掃除機、遠赤外線ヒーター、冷蔵庫、エアコン、電動工具、洗濯機、オーディオ用等の電源アイソレータ、こたつ、調光機能付き照明器具、温水便座等
	消費電力が大きい家電製品	電子レンジ、電気ストーブ、IHクッキングヒーター、炊飯器等

- 途中で電源が切れると困る家電製品は接続しないでください。
- 突入電流など、瞬間的に大きな電流が流れる家電製品は一部動作しない場合があります。
- 消費電力が大きい家電製品を利用する際には、動作させる前に、他の接続している家電製品を減らす等、特定コンセントへの定格出力を超えないように工夫してください。
- もし、安全装置が作動してしまった場合は、室内リモコンのメッセージにしたがって、接続している家電製品の数を減らして、エラー解除してください。
- 発熱部分が外部に露出している電熱機器など発煙、発火、火災を引き起こすおそれのある機器に接続しないでください。
- 電池残量が少ない場合や本体周囲温度が高温または低温時にご使用される際は、電池保護のため放電出力が定格出力より小さくなる場合があります。接続している家電製品の数を減らしてご使用ください。
- 蓄電システム用分電盤を使用せずに特定コンセントを使用している場合に、本システムからの電力の供給を遮断するときは、特定コンセントから家電製品を抜いてください。

(接続可能家電製品例)

 ノートパソコン 30W	 リビング用照明 100W	<p>合計 約300Wで最大9時間利用可能です。 ※おおよその目安です。蓄電池の充電状態、その他の条件で変わります。</p>
 液晶テレビ 150W	 携帯電話充電 10W (2台)	

保証とアフターサービス

よくお読みください

保証について

保証については保証書の内容をよくお読みください。

保証書は、弊社またはお買い上げの販売会社からお渡しますので、必ず販売会社名、引渡日等の記入をお確かめになり、大切に保管してください。

注:上記の記載がない場合に無効となることがあります。

アフターサービスについて

●ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売会社へお問い合わせください。

●修理を依頼される時

修理を依頼される場合、次のことをお知らせください。

- ・ お買い上げ時期
- ・ 装置の型番と製造番号(装置側面の定格ラベルに表示)
- ・ 故障の状況(エラーコード、故障発生時の時間と天候など)

●補修用性能部品の最低保有期間

- ・ 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ・ 装置の補修用性能部品の最低保有期間は販売終了後10年です。

●移設等で機器を一時保管される場合は屋内(湿気の少ないところ)に保管してください。

- ・ お客様ご自身では移設を行わないでください。

仕様

型番	EGS-LM0320AG	
外形寸法	本体	W550mm × H760mm × D275mm
	室内リモコン	W100mm × H130mm × D21mm
質量	本体	約52.5kg
	室内リモコン	約180g
蓄電池	蓄電池容量	3.2kWh
	初期実効容量	2.8kWh(JEM 1511による)
	蓄電池種類	リチウムイオン電池
	蓄電池定格電圧	DC51.8V(単セル当たりの電圧: 3.7V)
系統連系運転時定格	定格出力	1.0kW
	定格出力電圧	AC202V(単相2線式、ただし接続は単相3線式)
	定格電圧範囲	AC202V ± 20V
	定格周波数	50または60Hz
	出力基本波力率	約1(定格出力時)
	出力電流歪率	総合電流歪率5%、各次電流歪率3%以下(定格出力時)
	電力変換効率	93.6% ^{*1}
自立出力定格	最大出力	1.5kVA
	定格出力電圧	AC101V ± 6V
	出力電流	最大15A
	出力電気方式	単相2線式
PV自立入力定格	最大入力	1.5kVA
	入力電圧	AC101V ± 6V
	入力電気方式	単相2線式
動作温度	-10~40℃ ^{*2}	

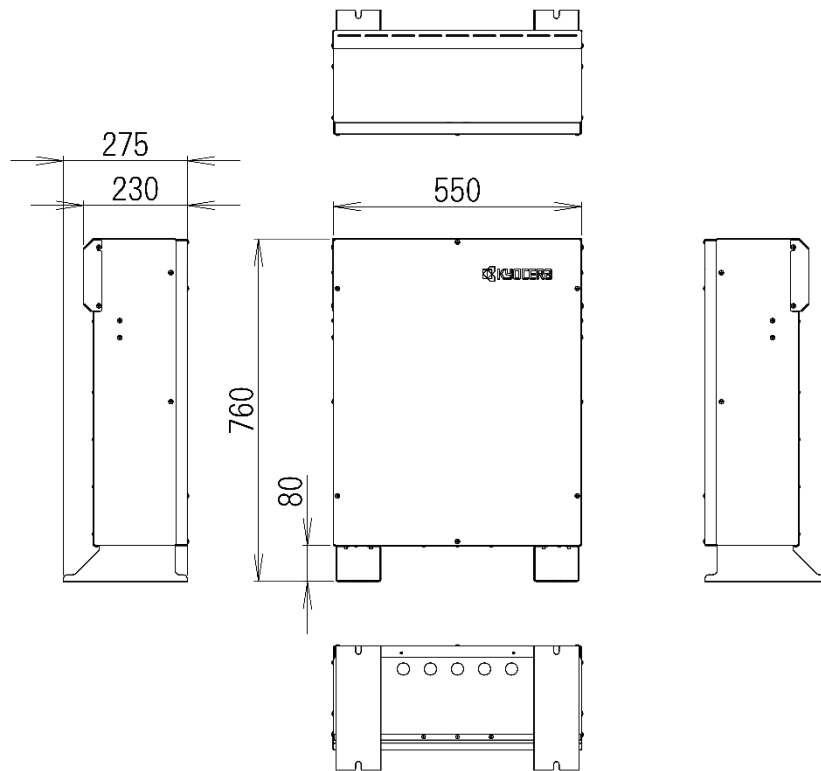
※1: JIS C 8961に基づく効率測定方法による定格負荷効率を示します(蓄電池定格電圧)。

※2: 本体内の温度センサの計測値によります。

外形寸法

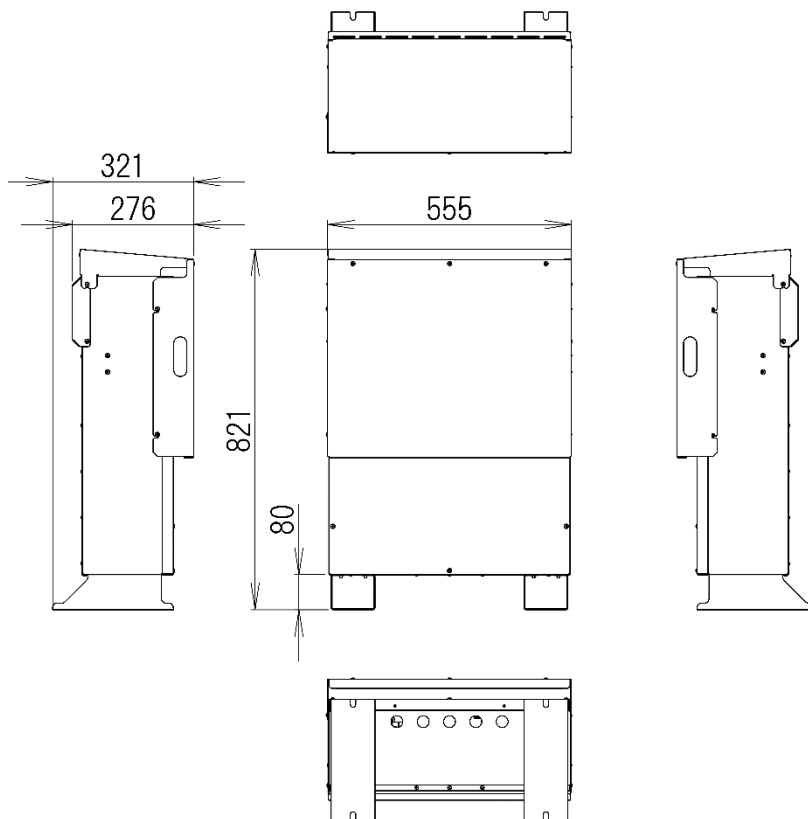
■本体 日除けなし (約52.5kg)

単位[mm]



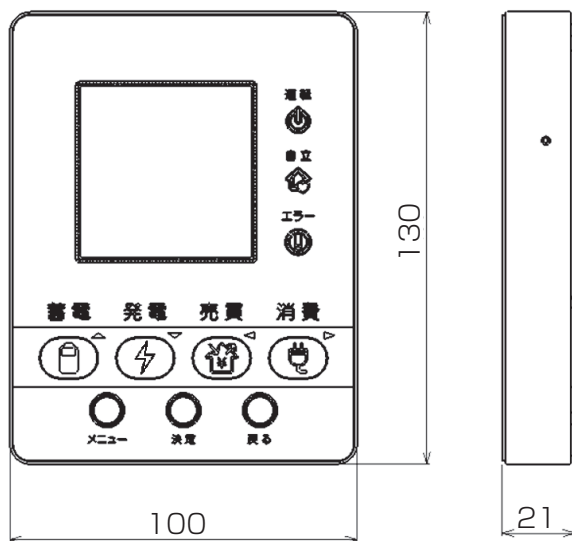
■本体 日除けあり (約57kg)

単位[mm]



■室内リモコン (約180g)

単位[mm]



メモ

A series of horizontal dotted lines for writing notes.

メモ

A series of horizontal dotted lines for writing notes.

京セラ株式会社

修理・アフターメンテナ
ンスのご用命は、
「弊社専用ダイヤル」へ



0120-71-9006 (無料)

24 時間受付
土曜・日曜・祝日も受け付けております。

「エネファーム」は、東京ガス株式会社・大阪ガス株式会社・ENEOS 株式会社の登録商標です。

「ECHONET Lite」はエコーネットコンソーシアムの商標です。

「Wi-Fi」は Wi-Fi Alliance の登録商標です。

本書に記載している会社名、製品名は、各社の登録商標あるいは商標です。

TM、® は省略している場合があります。



京セラ株式会社 スマートエナジー事業本部

京都市伏見区竹田鳥羽殿町 6 〒612-8501

当説明書に記載の情報は2021年12月時点のものです。
当説明書については、無断で複製、転載することを禁じます。



KM-SP-01018-2